

ユーザーズマニュアル

棒交換手順

TFMX-IIC TYPE-2



まえがき

このユーザーズマニュアルは、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。内容を理解されたうえでご使用ください。

本書は、詳細において本製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

なお、「タジマ刺繍機の基本知識」、および「セットアップ要領書」は、本製品に対する知識を深めていただくうえでお役に立つものと考えておりますので併せてお読みください。

関連する製品の取り扱い方法については、マニュアル CD に収めてある専用のユーザーズマニュアルをご参照ください。

株式会社 **TISM**

安全上のご注意

本製品をお使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表示します。



誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる危険性がきわめて高い注意事項



誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる可能性のある注意事項



誤って取り扱うと、軽傷^[*2]を負う、または物的損害が生じる可能性のある注意事項

*1: 感電、けが、骨折などで後遺症をもたらす、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

*2: 治療に入院や長期の通院を要さないもの。

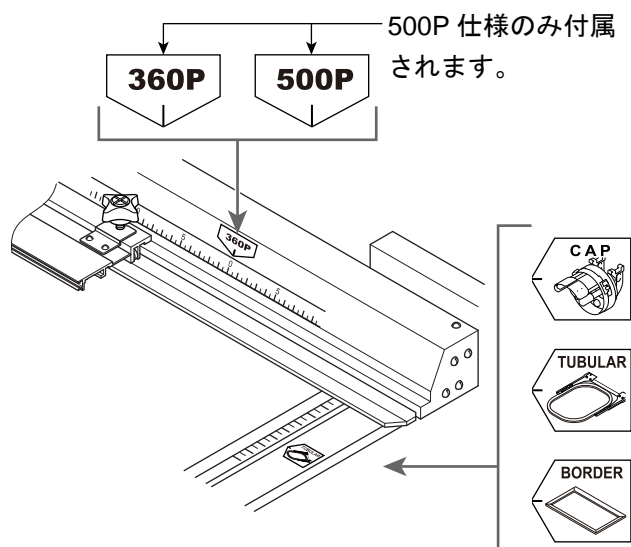
: 禁止事項

: 守らなければ感電するおそれのある事項

: 安全のために守っていただきたい事項

シール（付属品）について

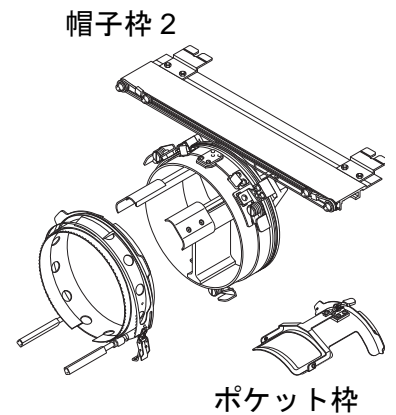
刺繍範囲の中心を枠種ごとに区別するためのシールです。ご使用になる枠に応じて、適宜シールをお貼りください。



貼付位置は、枠仕様やサイズによって異なります。

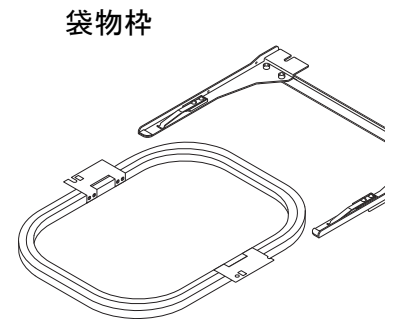
第 1 章 帽子枠 2

1. 枠ユニットの取り外し.....	1
1-1. 袋物枠.....	1
1-2. 原反枠.....	2
2. テーブルの高さ変更.....	3
3. 帽子枠ユニットの取り付け.....	5
4. 枠種変更.....	8
5. 素材のセット.....	10



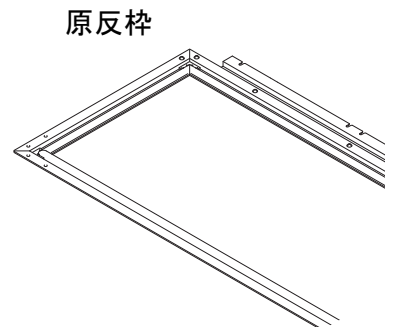
第 2 章 袋物枠

1. 枠ユニットの取り外し.....	15
1-1. 帽子枠.....	15
1-2. 原反枠.....	16
2. テーブルの高さ変更.....	17
3. 袋物枠ユニットの取り付け.....	19
4. 枠種変更.....	20
5. 素材のセット.....	22



第 3 章 原反枠

1. 枠ユニットの取り外し.....	24
1-1. 袋物枠.....	24
1-2. 帽子枠.....	25
2. テーブルの高さ変更.....	26
3. 原反枠ユニットの取り付け.....	28
4. 枠種変更.....	29
5. 素材のセット.....	31
5-1. 2 頭機、4 頭機の 360P 以下.....	31
5-2. 4 頭機の 500P 以上、6 頭機、8 頭機.....	32



第 4 章 調整と保守

1. 駆動リングシャフトの取り付け	33
2. 帽子枠ユニットの位置調整	34
3. 駆動ワイヤのテンション調整.....	35
4. 定期点検	39

第1章 帽子枠2

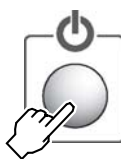
「帽子枠2」の名称について、本文中では便宜上「帽子枠」と表記します。

ポケット枠についても本章に従って作業してください。

注意

❗ 本章に記載されている内容は電源 OFF、またはスリープモード^[*]の状態で行ってください。さもないと予期しない機械の誤作動によって負傷するおそれがあります。

* スリープモードへの切換え方法



メイン画面の状態ですリープモードキーを数秒間押してください。

解除するときは、再度このキーを数秒間押してください。その後、表示されるメッセージに従い、[セット]を押してください。

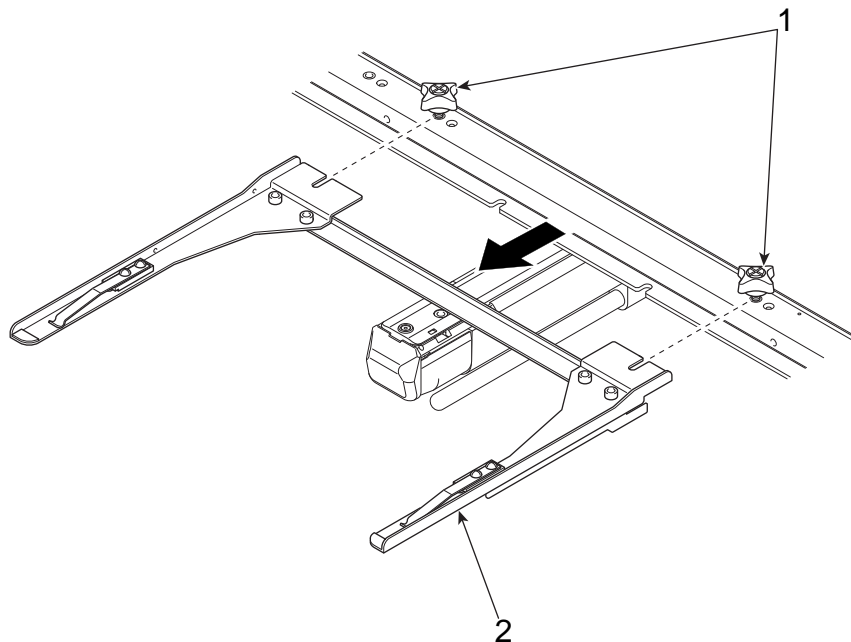


スリープモード中は手で枠を動かすことができますが、機械の操作はできません。

1. 枠ユニットの取り外し

1-1. 袋物枠

(1) ネジ1を緩め、枠ホルダ2を取り外します。

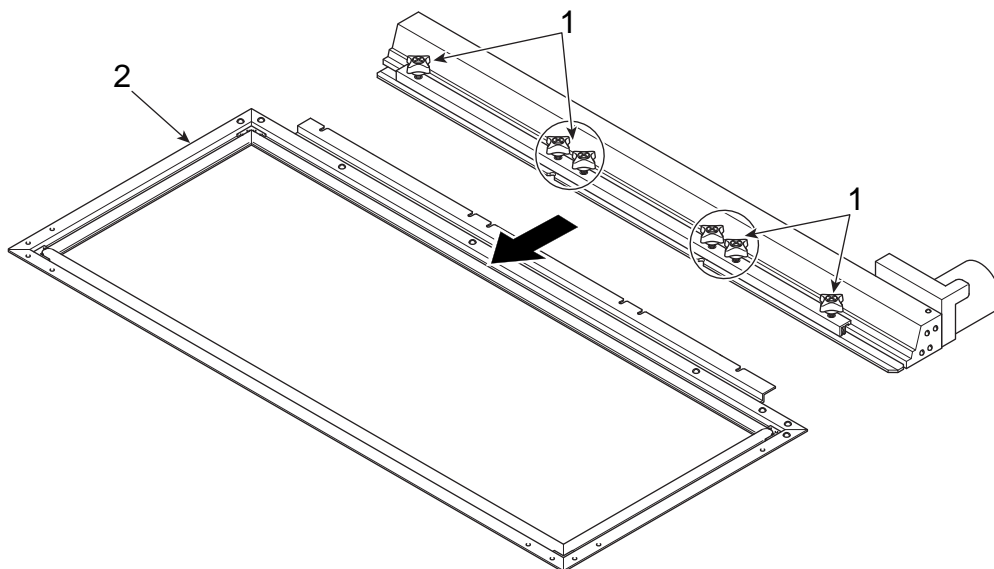


(2) この後、以下の作業を行います。

「2. テーブルの高さ変更」(→ P.3)

1-2. 原反枠

(1) ネジ 1 を緩め、原反枠 2 を取り外します。

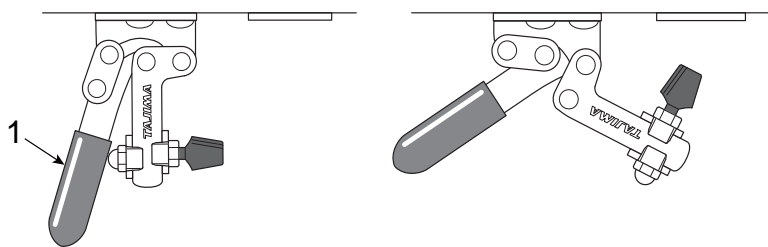


(2) この後、以下の作業を行います。

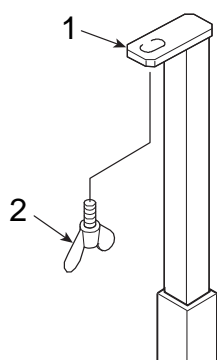
「2. テーブルの高さ変更」(→ P.3)

2. テーブルの高さ変更

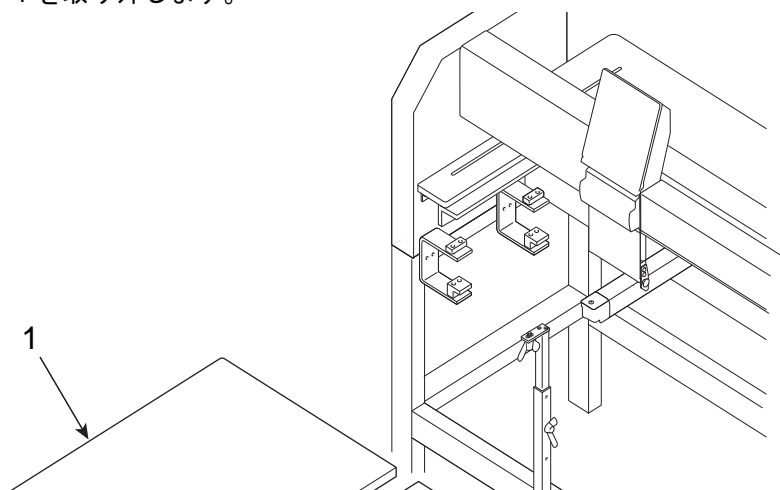
(1) テーブル下面のトグルクランプ 1 をすべて解除します。



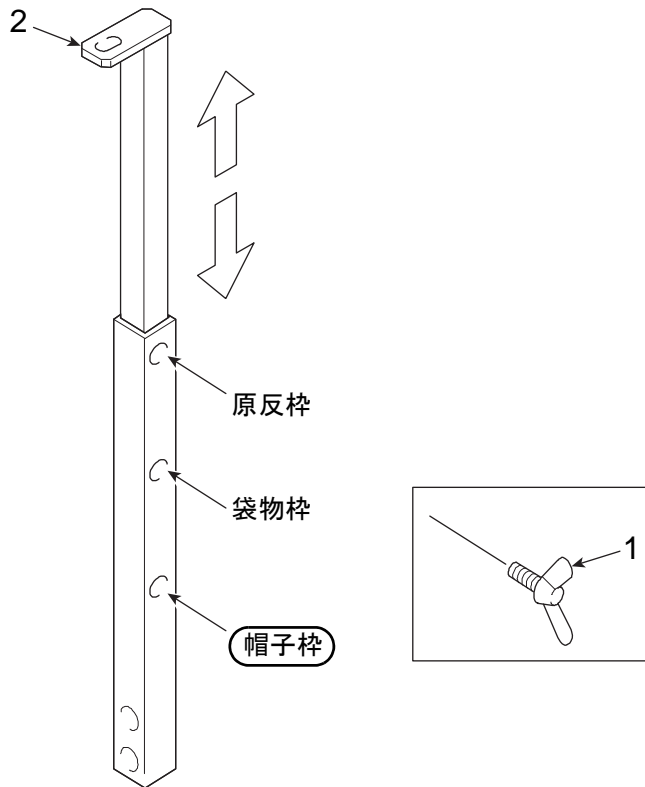
(2) テーブル下にあるスチ 1 のネジ 2 を取り外します。



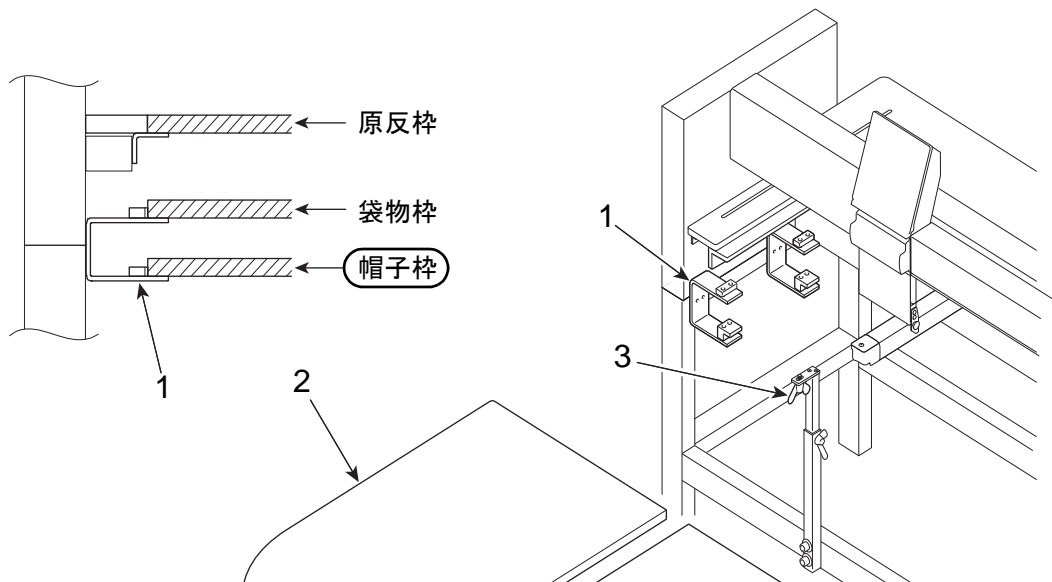
(3) テーブル 1 を取り外します。



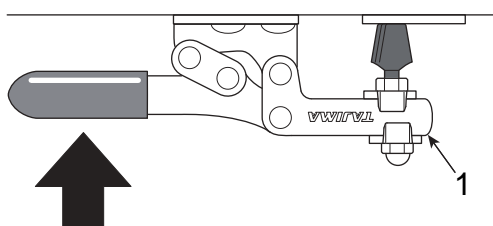
(4) ネジ1を取り外し、ステイ2の高さを枠の種類に合わせたのちネジ1を締めます。



(5) 枠の種類に合った卓ホルダ1にテーブル2を乗せ、しっかりと奥まで押し込んだのち、ネジ3を締めます。



(6) トグルクランプ1をすべて固定します。

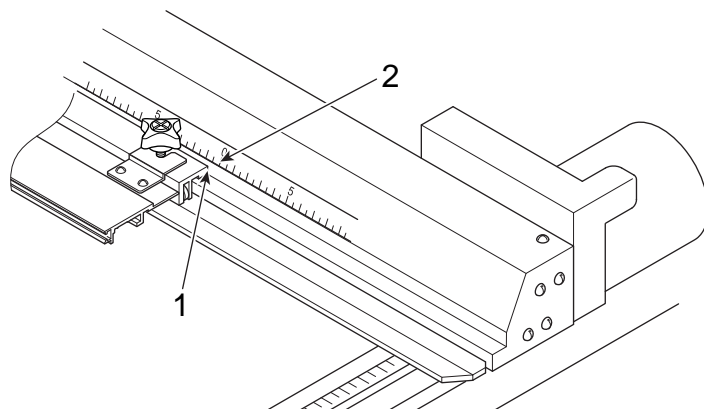


3. 帽子枠ユニットの取り付け

🔧 ポケット枠を使用する場合も帽子枠ユニットを取り付けてください。

(1) 枠を横方向に移動させて、スライドベースの右端1をスケールシート2の目盛（下表）に合わせます。

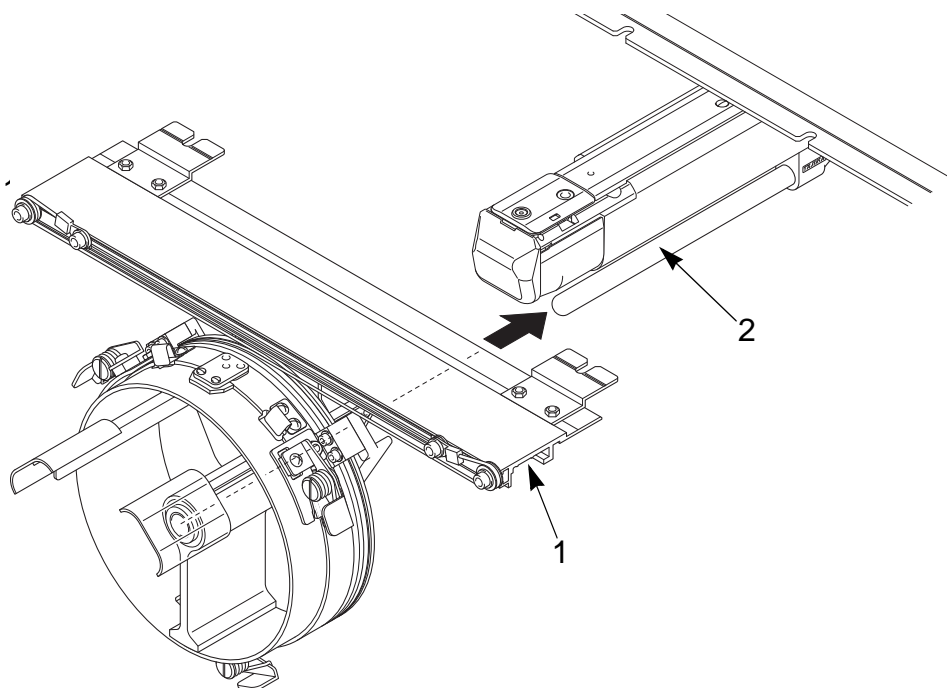
枠仕様	目盛
360P	0
500P	7



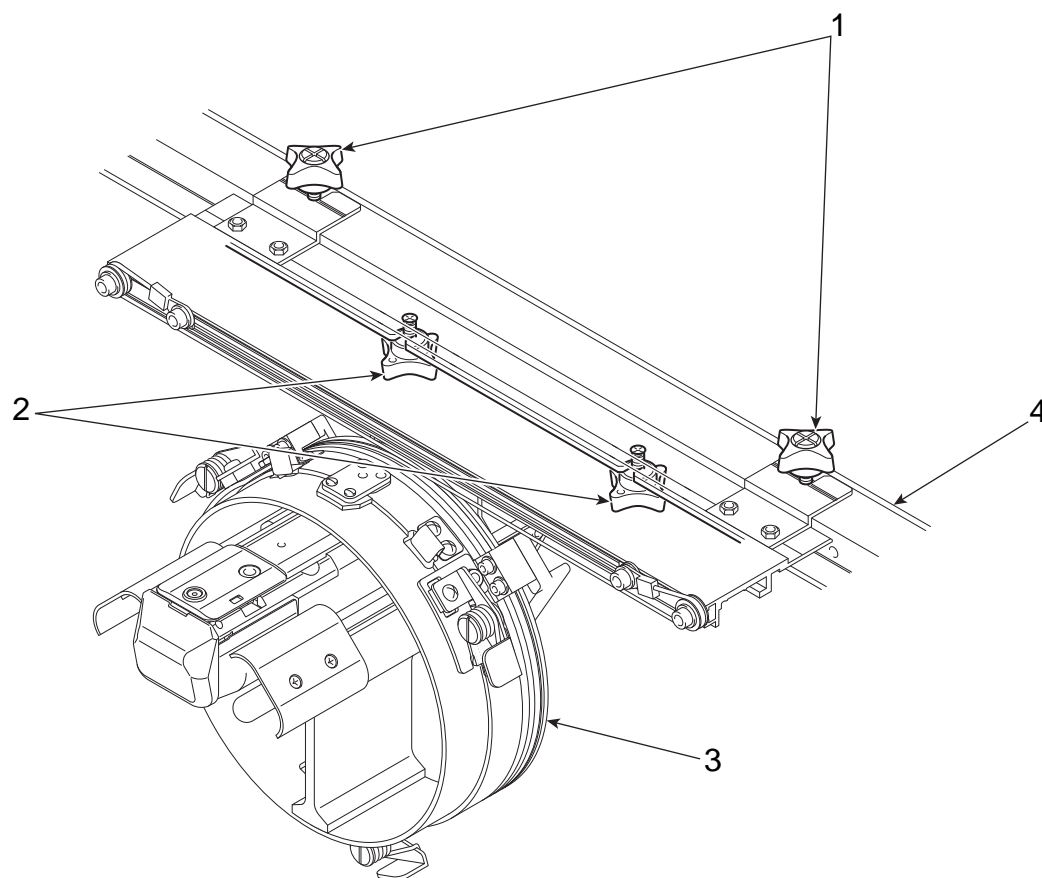
(2) 帽子枠ユニット1を駆動リングシャフト2にはめ込みます。

🔧 駆動リングシャフトが取り付けられていないときは、以下の作業を行います。

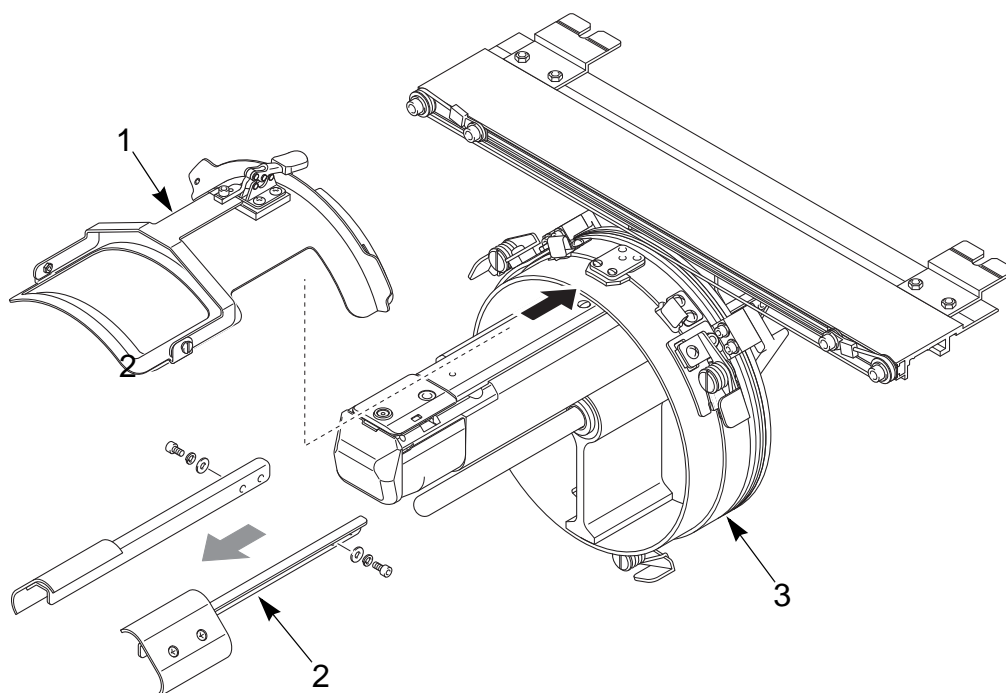
「駆動リングシャフトの取り付け」(→ P.33)




(3) ネジ1とネジ2で、帽子枠ユニット3と駆動部4を連結します。

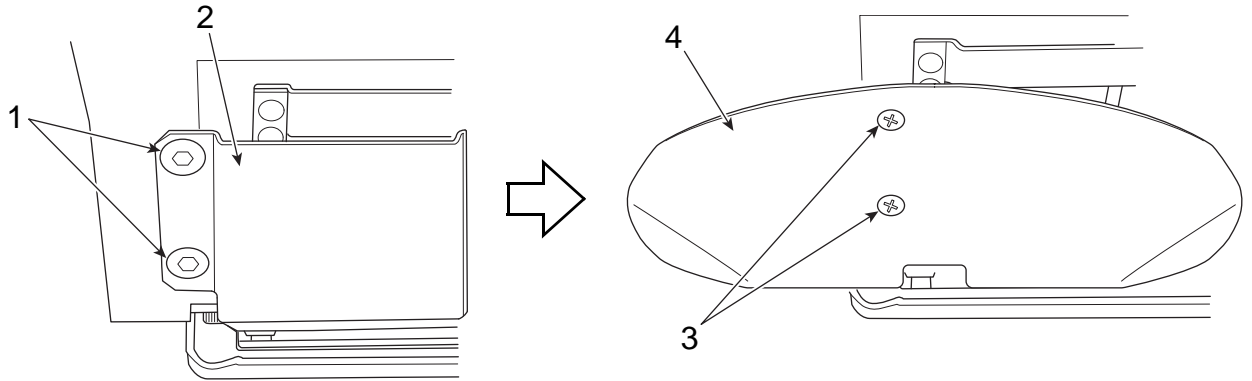


🔧 ポケット枠1は、針板ブラケット2を取り外したのち、駆動リング3に取り付けてください。



(4) ネジ1でフックカバー2を取り外し、ネジ3で帽子枠ガイド4を取り付けます。

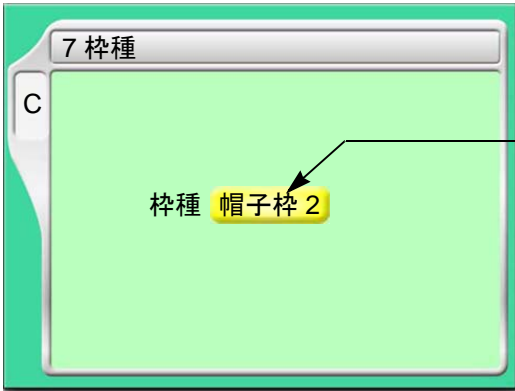
 帽子枠ガイド4は取り付けただけでも構いませんが、刺繍作業に支障がある場合のみフックカバー2に交換してください。



4. 枠種変更

枠を交換したあとは、以下の手順に従い枠種を変更してください。なお、刺繍途中は変更できません。

(1) 画面説明



枠を選択してください。

TFMX- II C TYPE-2 は、「帽子枠 2」を選択してください。

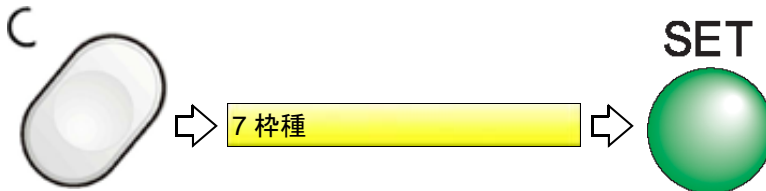
ポケット枠のときは、「袋物枠」を選択してください。

(2) 操作方法

⚠ 注意

⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

[a] 画面を開く

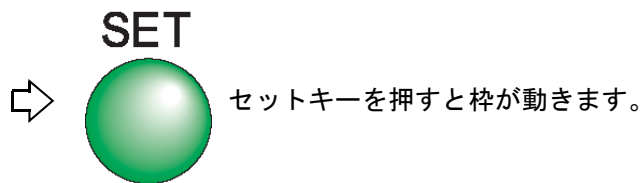
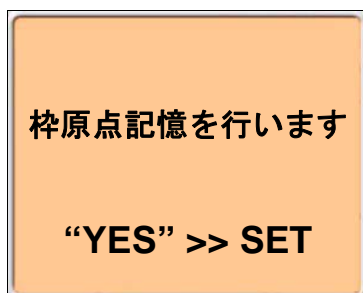


[b] 枠を選択する



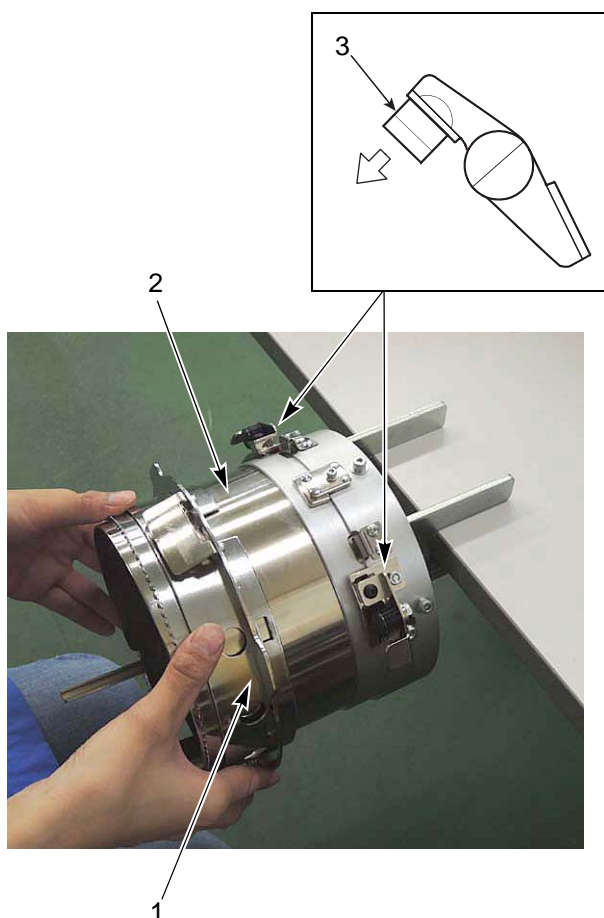
[c] 枠原点記憶を実行する

以下のメッセージは、「電源 ON 時の枠原点記憶」([SET+F1-7] が YES のときのみ表示されます。

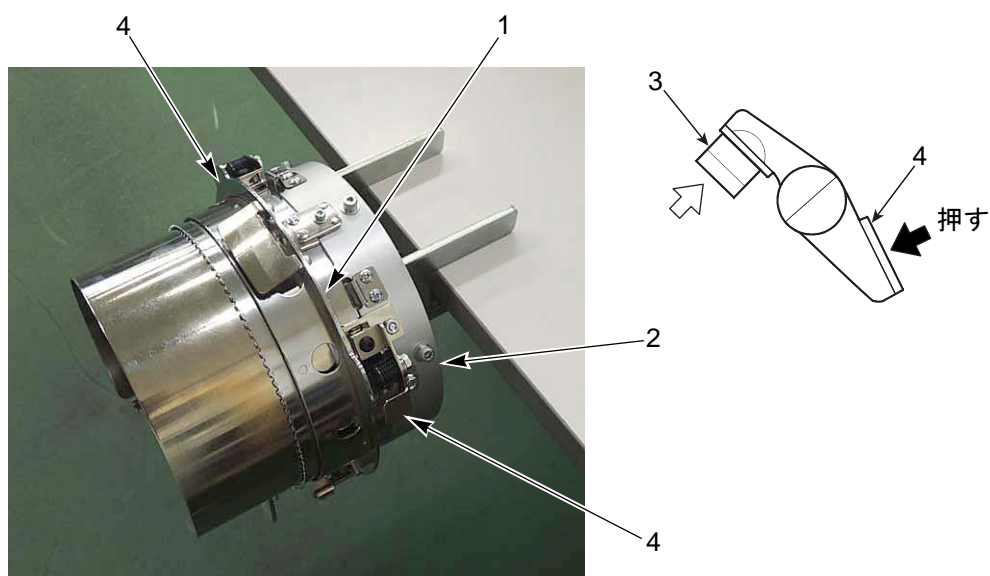


5. 素材のセット

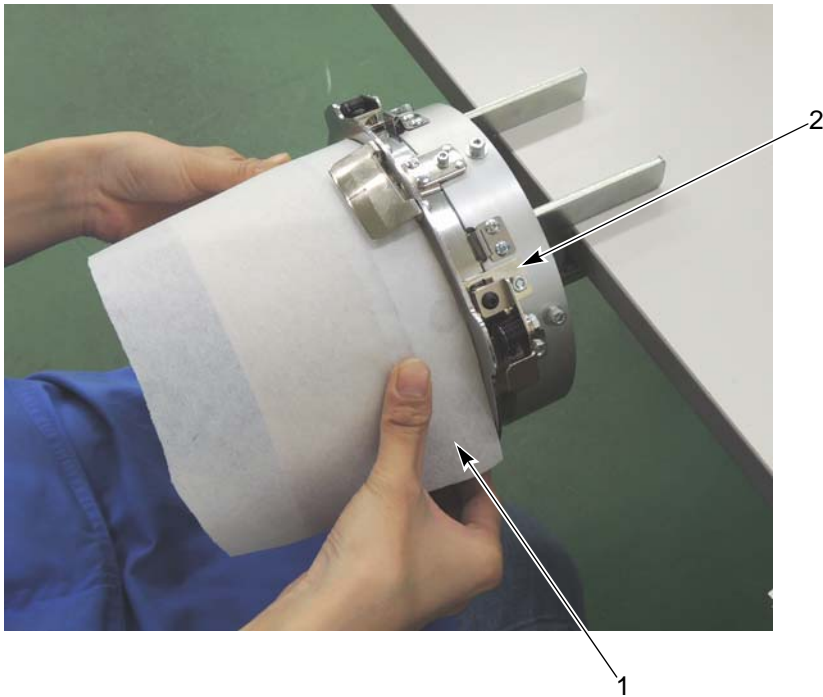
(1) 帽子枠 1 をセッティングフレーム 2 のロックピン 3 に固定されるまで押し込みます。



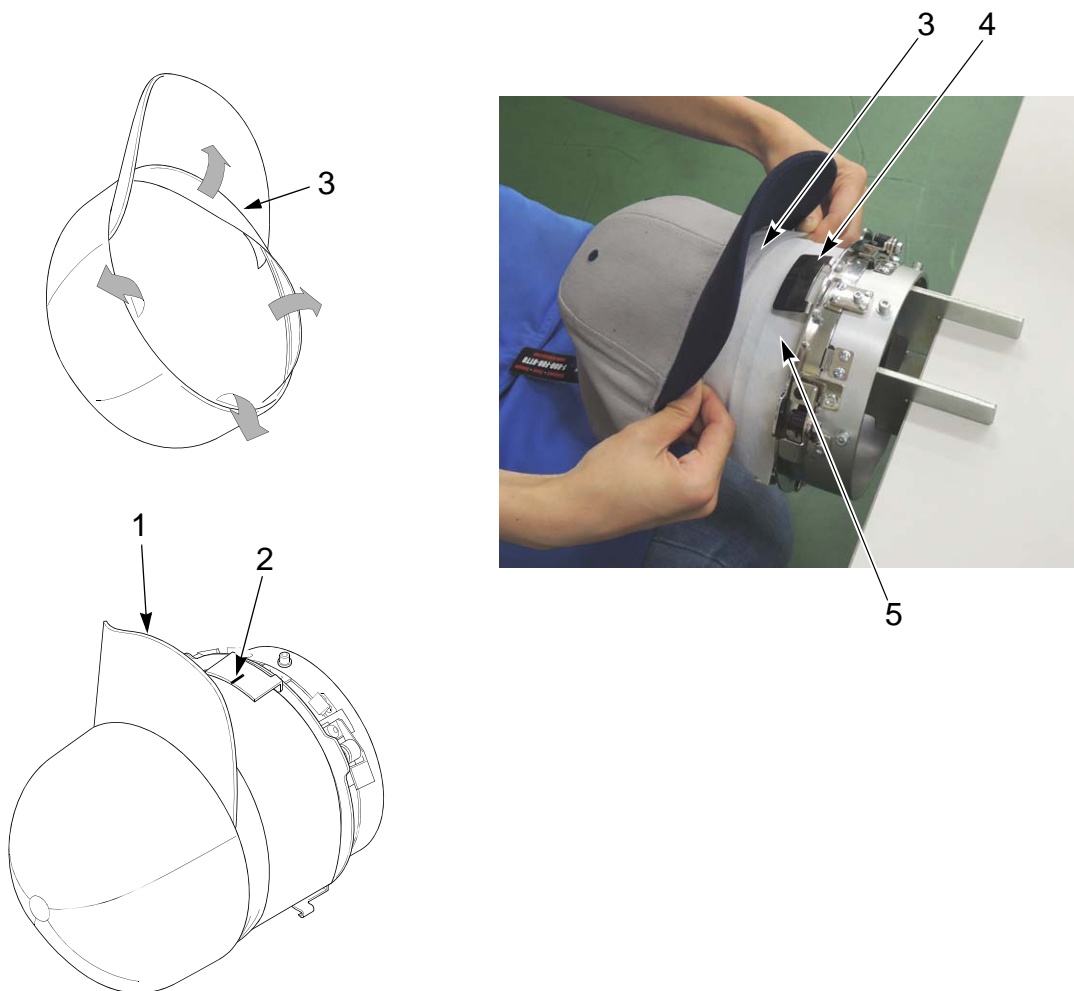
帽子枠 1 をセッティングフレーム 2 から取り外すときは、左右の脱着レバー 4 を押してロックピン 3 を外します。



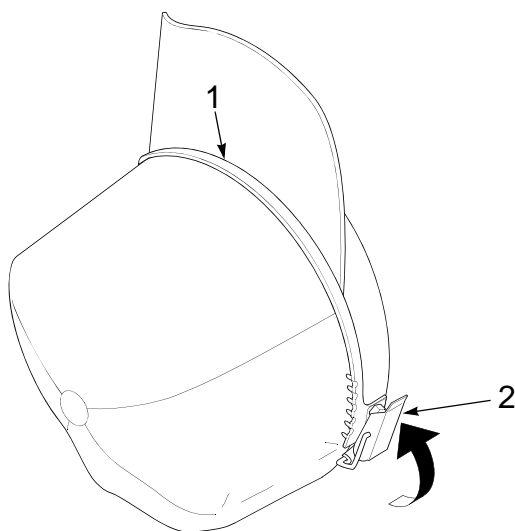
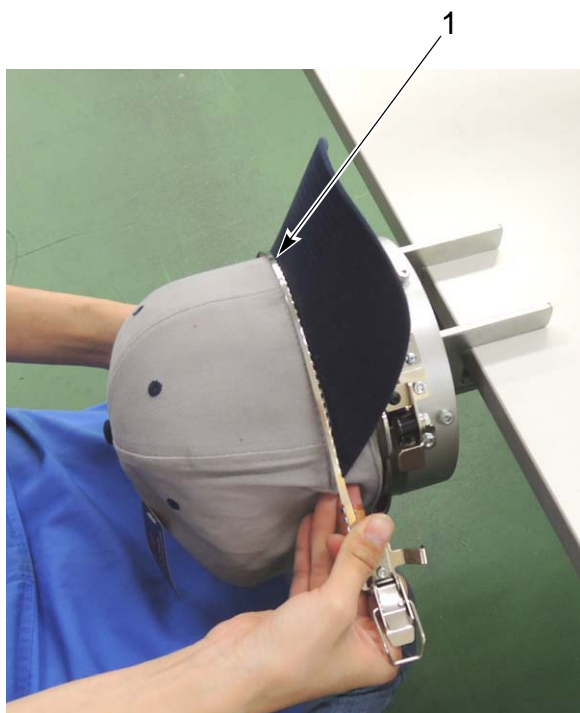
(2) 芯地 1 を帽子枠 2 にセットします。



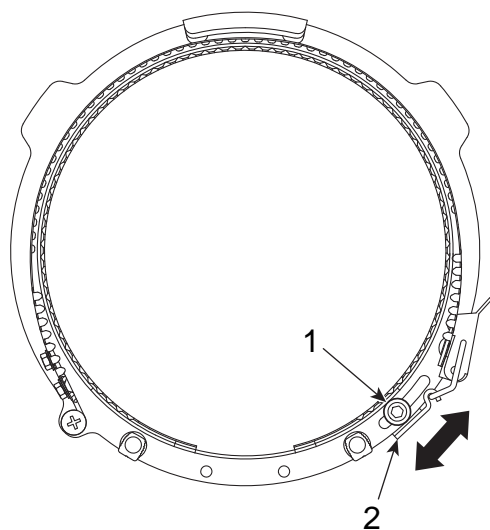
(3) 帽子のツバ 1 が真上にくるように帽子の中心とケガキ線 2 を合わせたのち、汗止め 3 を外側に引き出し、ホルダ 4 と芯地 5 の間に挟み込みます。



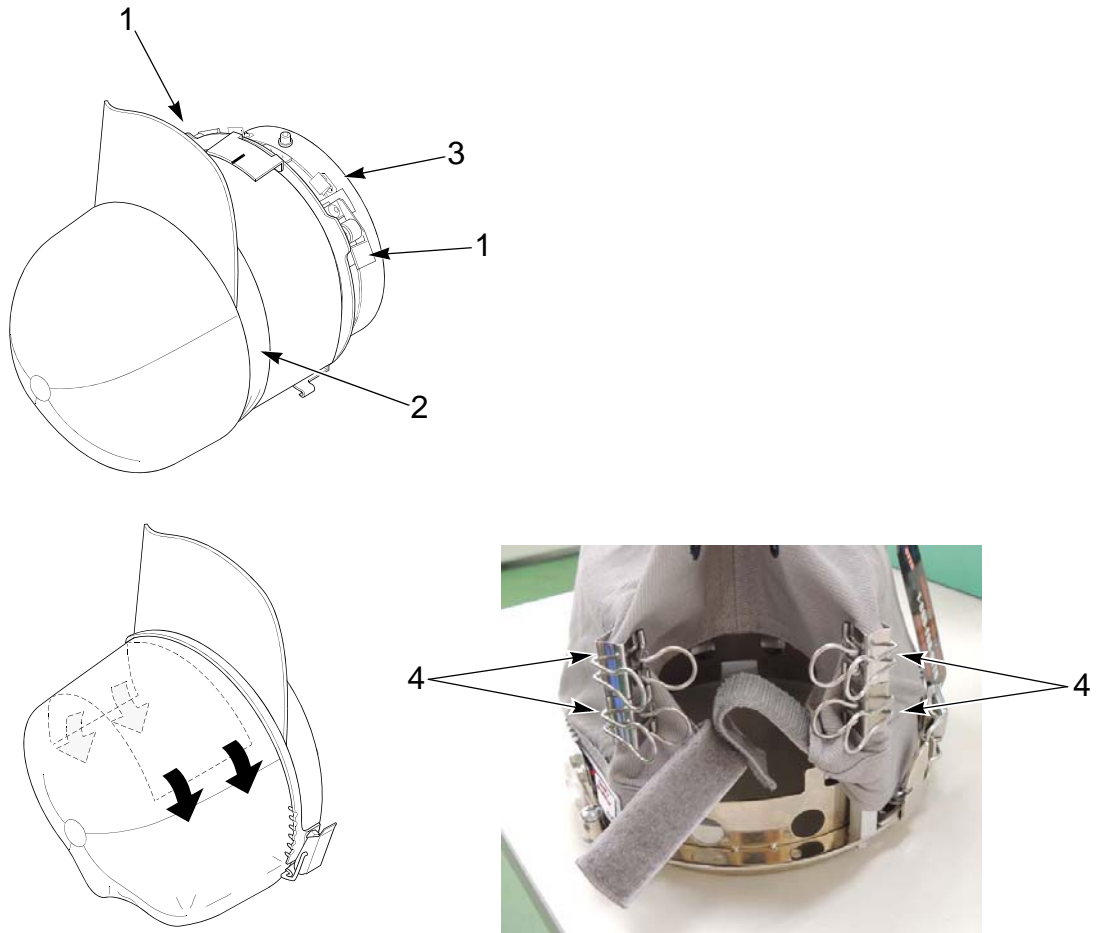
(4) フタ枠 1 を閉め、錠 2 で固定します。



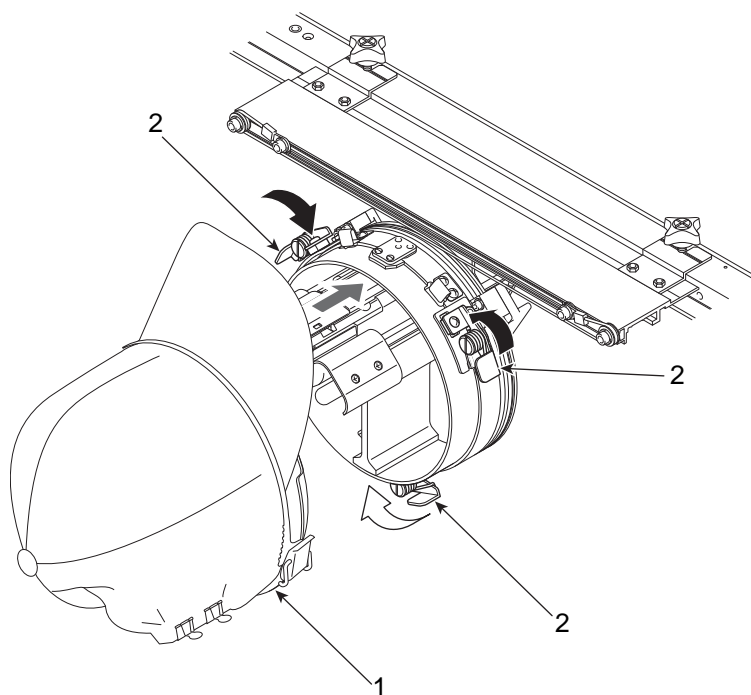
🔧 帽子の生地厚が変わった場合は、ネジ 1 を緩めたのち、帽子の生地厚に合わせて、フタ枠ホルダ 2 の位置を調整してください。



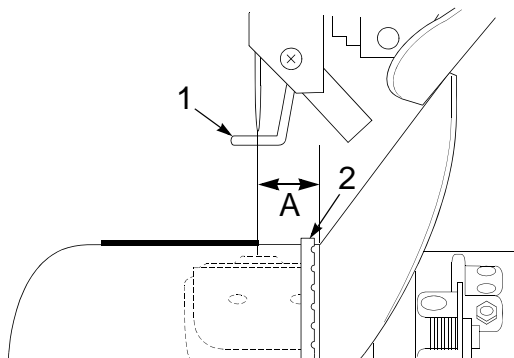
- (5) 左右の脱着レバー1を押し、帽子枠2をセッティングフレーム3から取り外します。帽子の丸みがなくならない程度に生地をのばしてから、クリップ4で固定します。



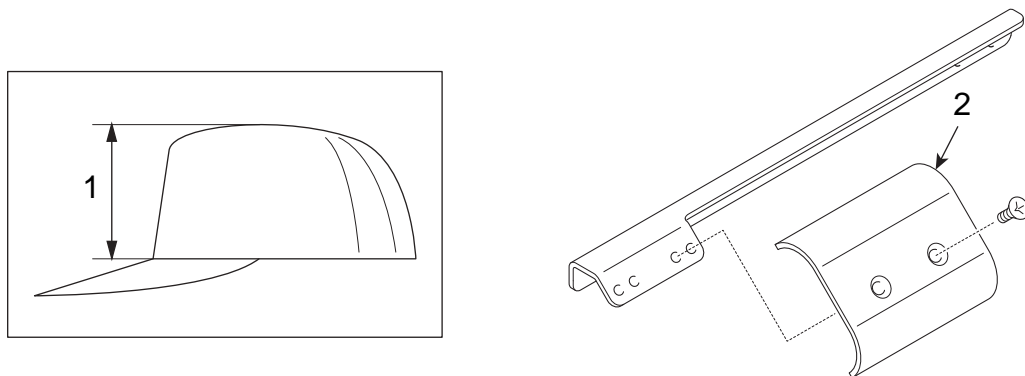
- (6) 帽子枠1がロックピン2に固定されるまで押し込みます。



刺繍時に布押え 1 とフタ枠 2 が当たることを防ぐため、下図 A 部は、15mm 以上間隔をあけてください。



帽の深さ 1 が変わったときは、針板ガイド 2 の取付け位置を変更してください。



帽子枠（ポケット枠含む）への交換、および素材のセット手順はこれで終了です。

第2章 袋物枠

⚠ 注意

❗ 本章に記載されている内容は電源 OFF、またはスリープモード^[*]の状態で行ってください。さもないと予期しない機械の誤作動によって負傷するおそれがあります。

* スリープモードへの切換え方法



メイン画面の状態ですリープモードキーを数秒間押してください。

解除するときは、再度このキーを数秒間押してください。その後、表示されるメッセージに従い、[セット]を押してください。

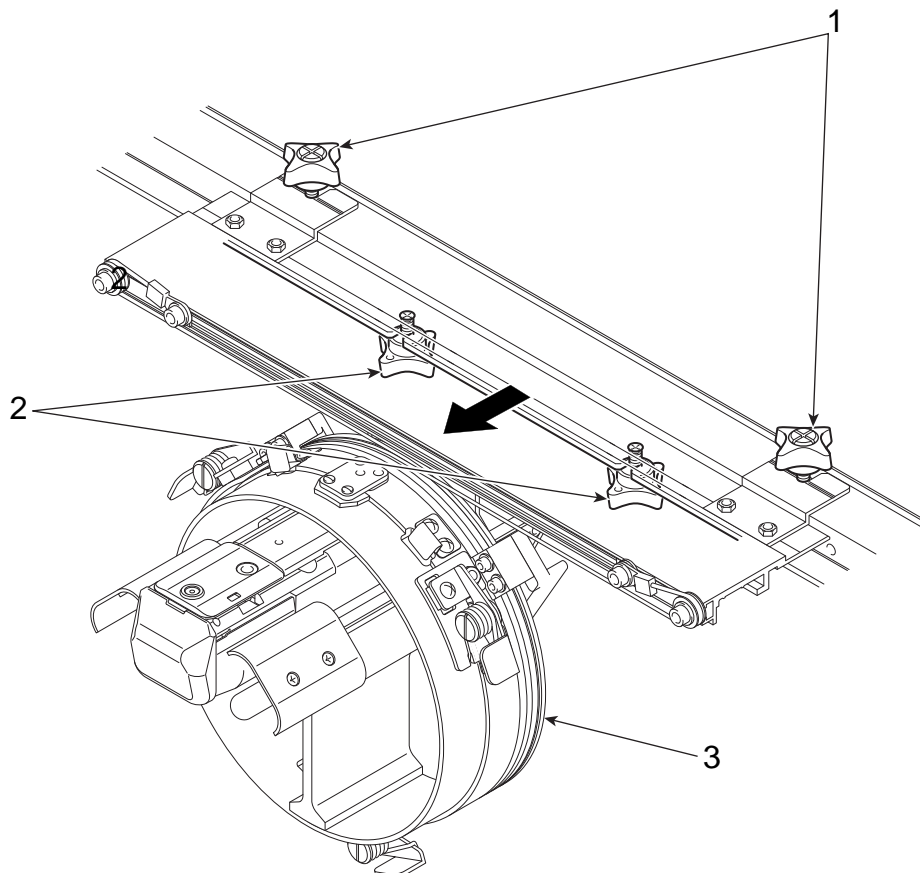


スリープモード中は手で枠を動かすことができますが、機械の操作はできません。

1. 枠ユニットの取り外し

1-1. 帽子枠

(1) ネジ1とネジ2を緩め、帽子枠ユニット3を取り外します。

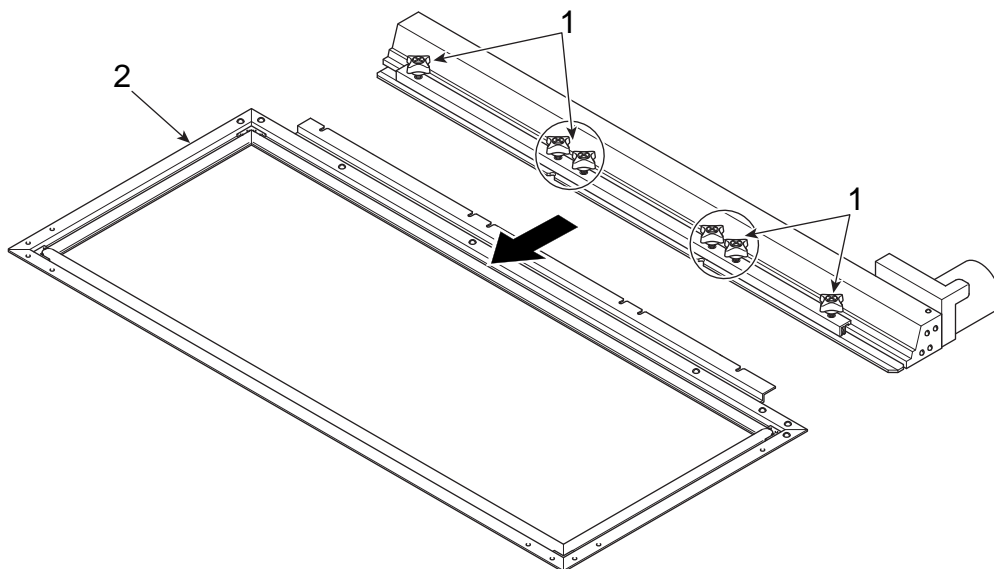


(2) この後、以下の作業を行います。

「2. テーブルの高さ変更」(→ P.17)

1-2. 原反枠

(1) ネジ 1 を緩め、原反枠 2 を取り外します。

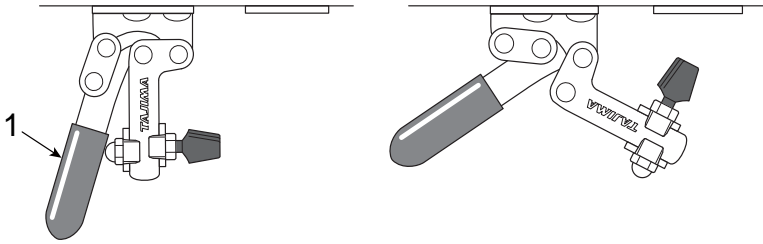


(2) この後、以下の作業を行います。

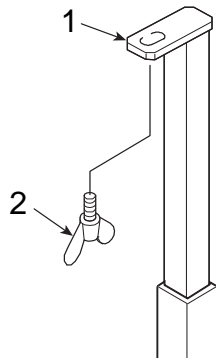
「2. テーブルの高さ変更」(→ P.17)

2. テーブルの高さ変更

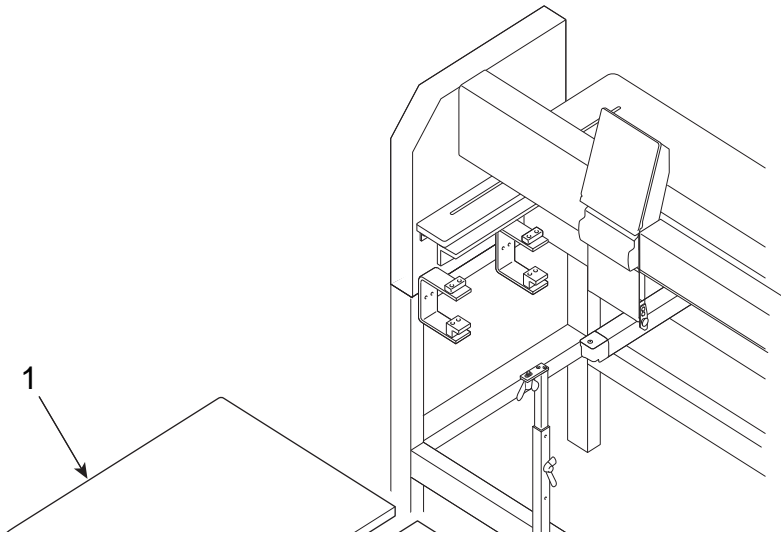
(1) テーブル下面のトグルクランプ 1 をすべて解除します。



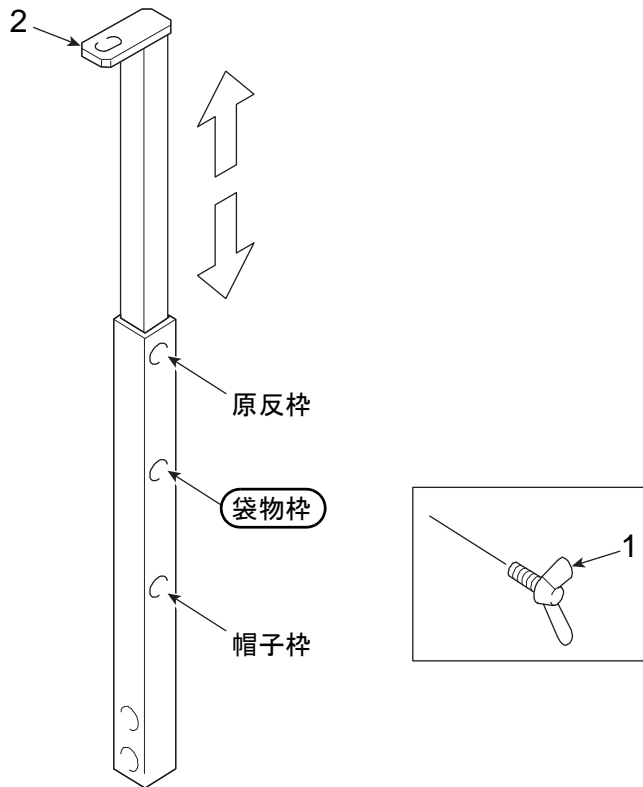
(2) テーブル下にあるステイ 1 のネジ 2 を取り外します。



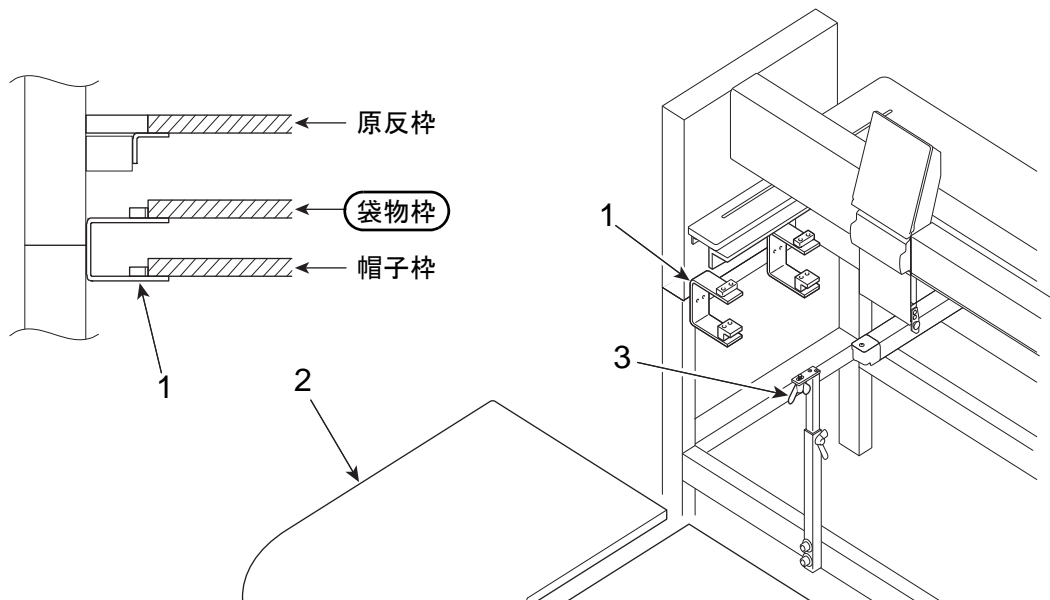
(3) テーブル 1 を取り外します。



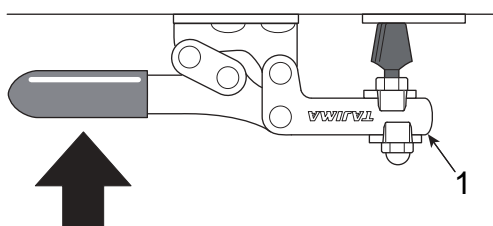
(4) ネジ 1 を取り外し、ステイ 2 の高さを枠の種類に合わせたのちネジ 1 を締めます。



(5) 枠の種類に合った卓ホルダ 1 にテーブル 2 を乗せ、しっかりと奥まで押し込んだのち、ネジ 3 を締めます。

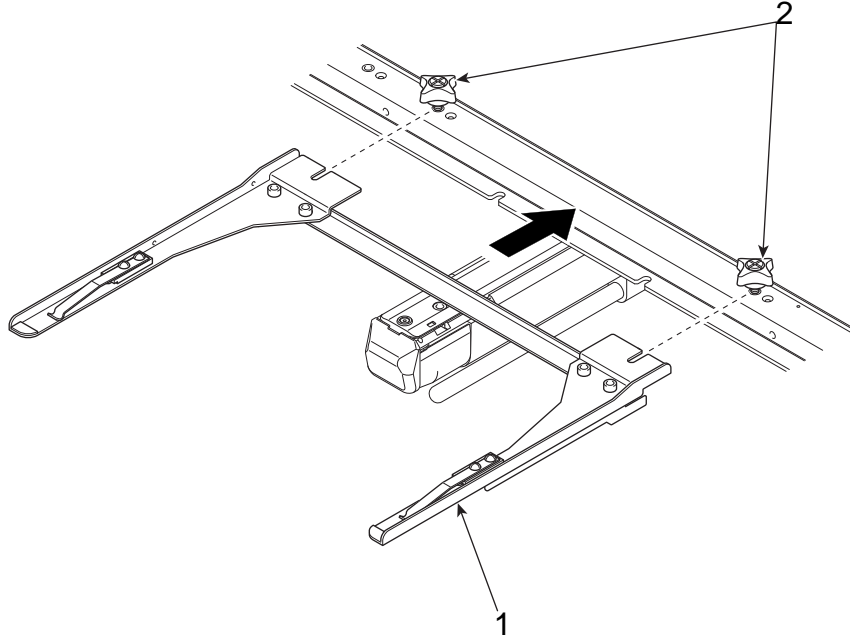


(6) トグルクランプ 1 をすべて固定します。



3. 袋物枠ユニットの取り付け

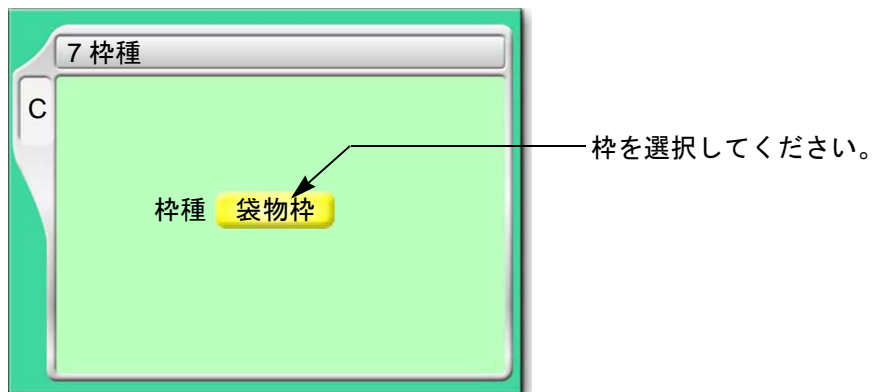
(1) 枠ホルダ 1 をネジ 2 で取り付けます。



4. 枠種変更

枠を交換したあとは、以下の手順に従い枠種を変更してください。なお、刺繍途中は変更できません。

(1) 画面説明

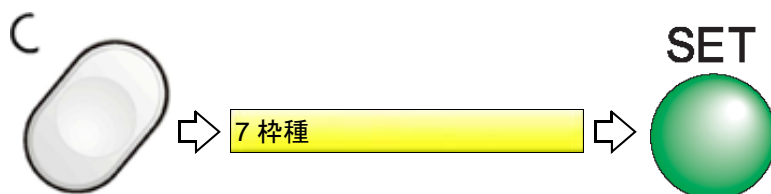


(2) 操作方法

⚠ 注意

⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

[a] 画面を開く

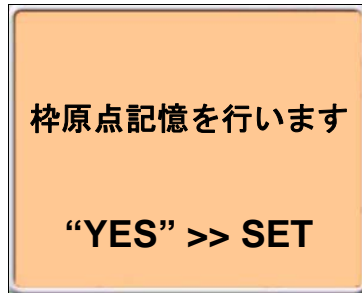
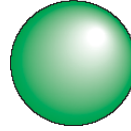


[b] 枠を選択する



[c] 枠原点記憶を実行する


以下のメッセージは、「電源 ON 時の枠原点記憶」([SET+F1-7]) が YES のときのみ表示されます。

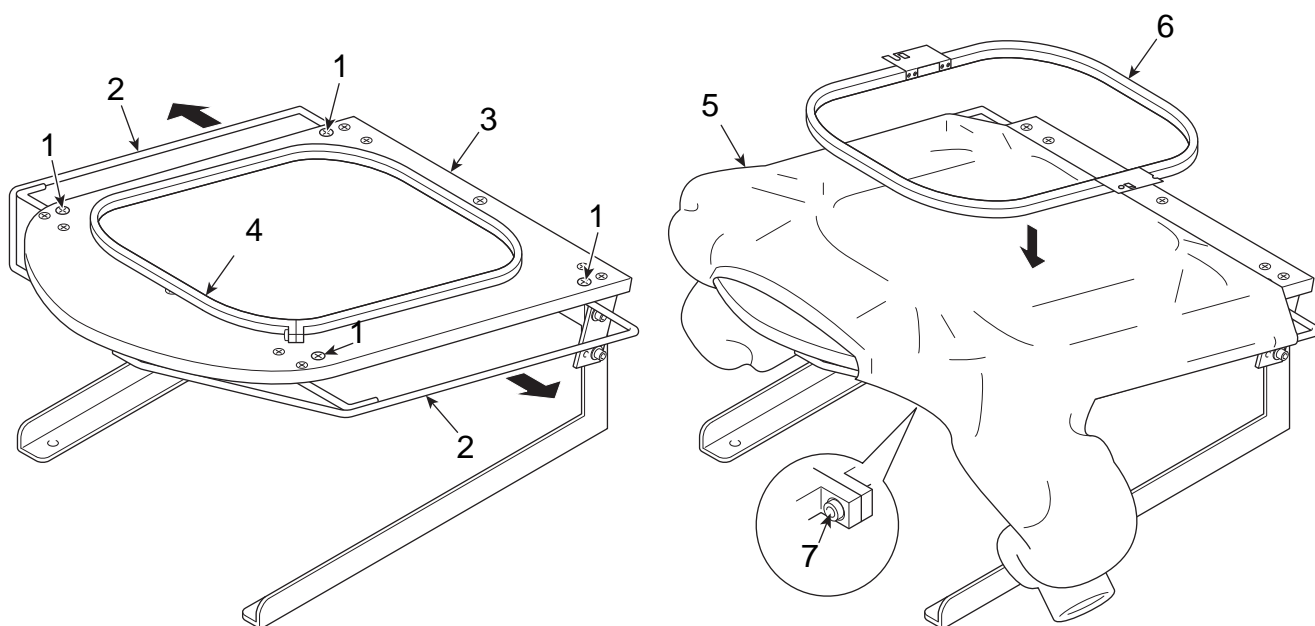
**SET**

セットキーを押すと枠が動きます。


5. 素材のセット

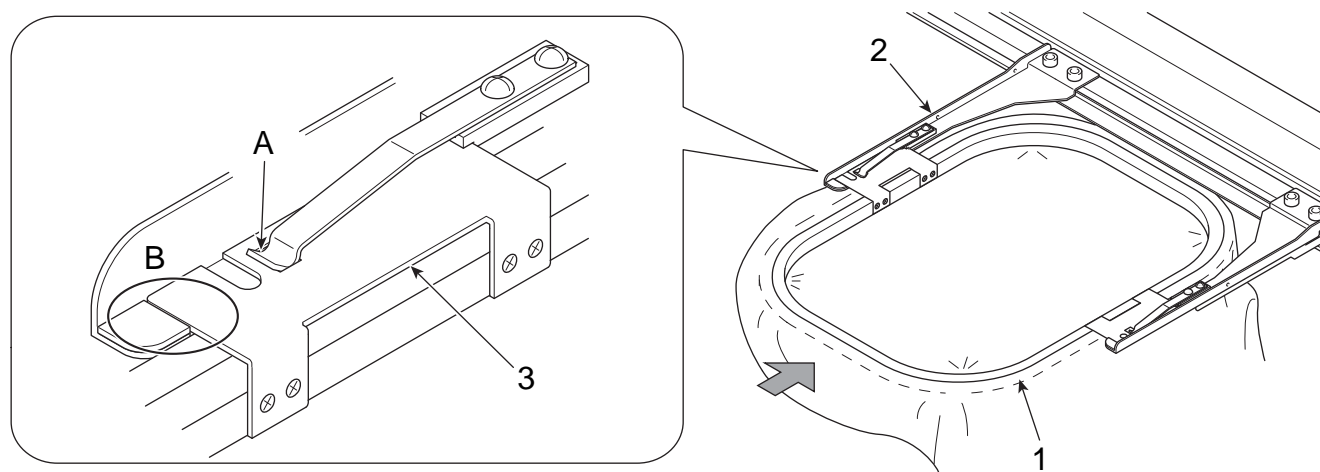
- (1) 素材のサイズに合うように、ネジ1を緩めてアーム2の位置を調整します。
- (2) ゲージ枠3の上に外枠4を置き、素材（例：トレーナー）5をかぶせます。
- (3) トレーナー5にしわがなく、均等に張られた状態になるように内枠6を外枠4にはめ込みます。

 素材の厚みに応じ、ネジ7で外枠4の締め具合を調整してください。




- (4) 袋物枠1を枠ホルダ2にセットし、アーム3がロックされる位置（A部）まで押し込みます。

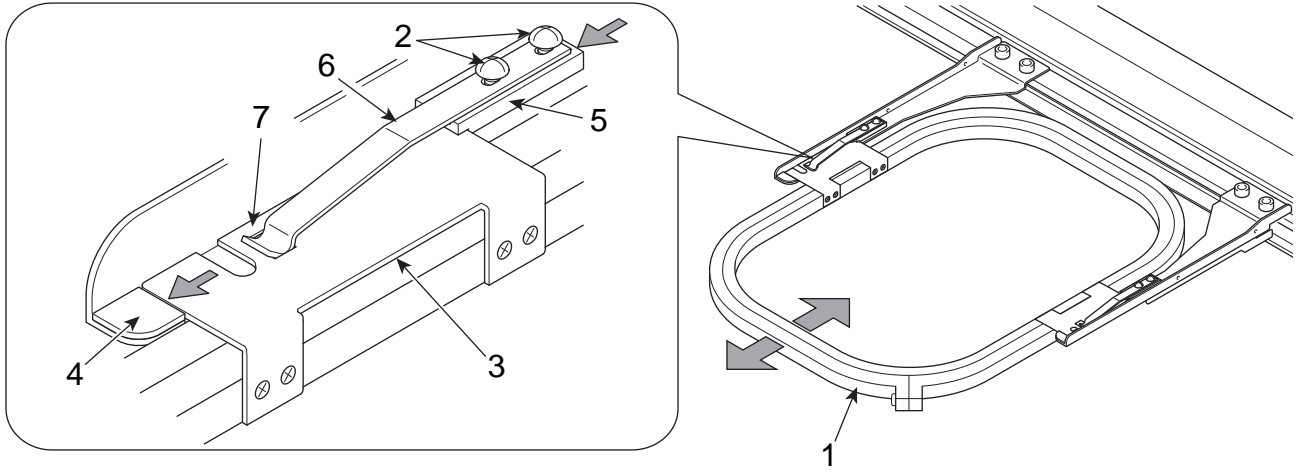
 B部に段差やすき間がないことを確認してください。



(5) セットした袋物枠 1 を前後に動かしてガタがないことを確認します。

ガタがあるときは、ネジ 2 を緩め、爪 4 と位置決め板 5 でアーム 3 を挟み込んだのち、枠押えバネ 6 を溝 7 にはめ込んだ状態で 2 を締めてください。

 アーム 3 の形状は枠の種類によって異なります。



袋物枠への交換、および素材のセット手順はこれで終了です。

第3章 原反枠

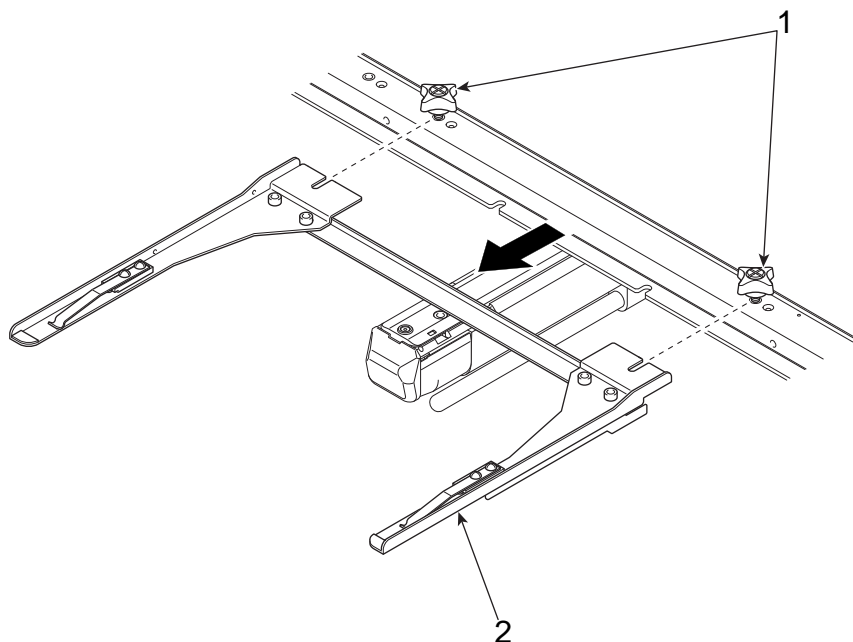
⚠ 注意

❗ 本章に記載されている内容は、一部の作業を除き、電源スイッチ OFF の状態で行ってください。さもないと予期しない機械の誤作動によって負傷するおそれがあります。

1. 枠ユニットの取り外し

1-1. 袋物枠

(1) ネジ 1 を緩め、枠ホルダ 2 を取り外します。

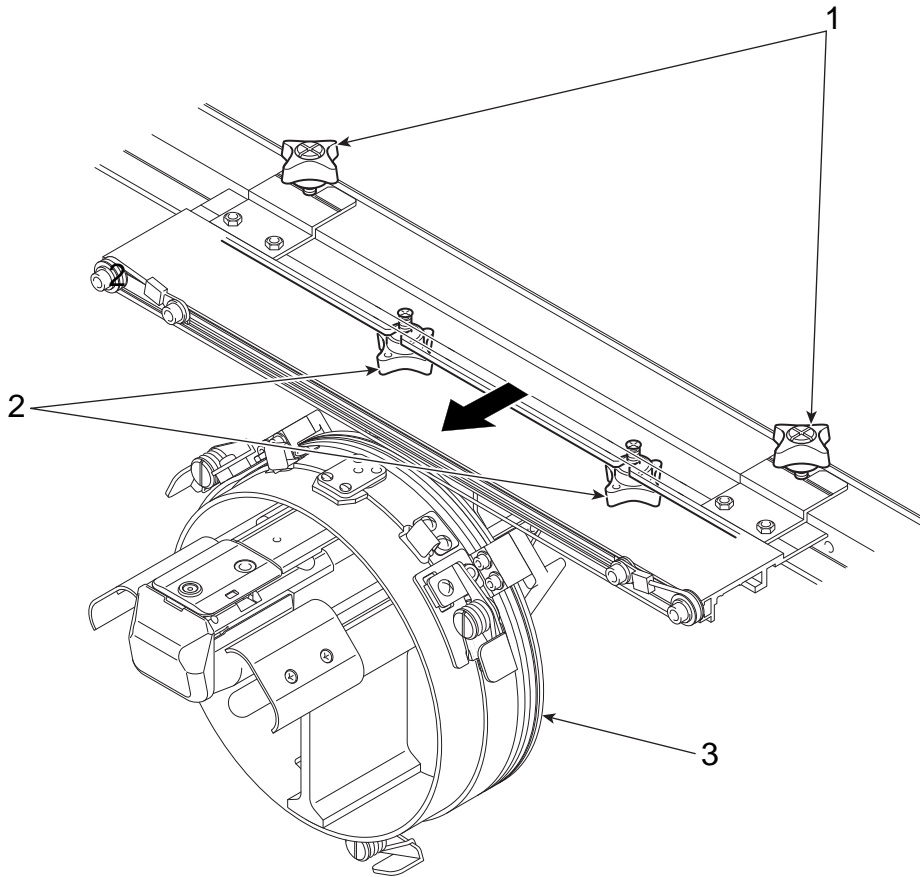


(2) この後、以下の作業を行います。

「2. テーブルの高さ変更」(→ P.26)

1-2. 帽子枠

(1) ネジ1とネジ2を緩め、帽子枠ユニット3を取り外します。

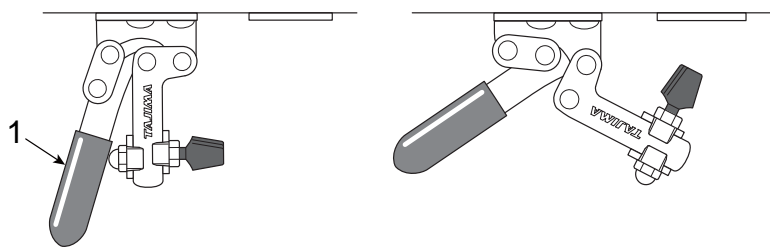


(2) この後、以下の作業を行います。

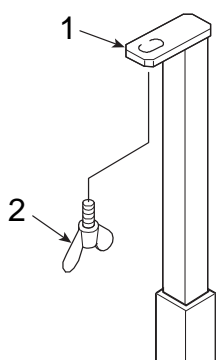
「2. テーブルの高さ変更」(→ P.26)

2. テーブルの高さ変更

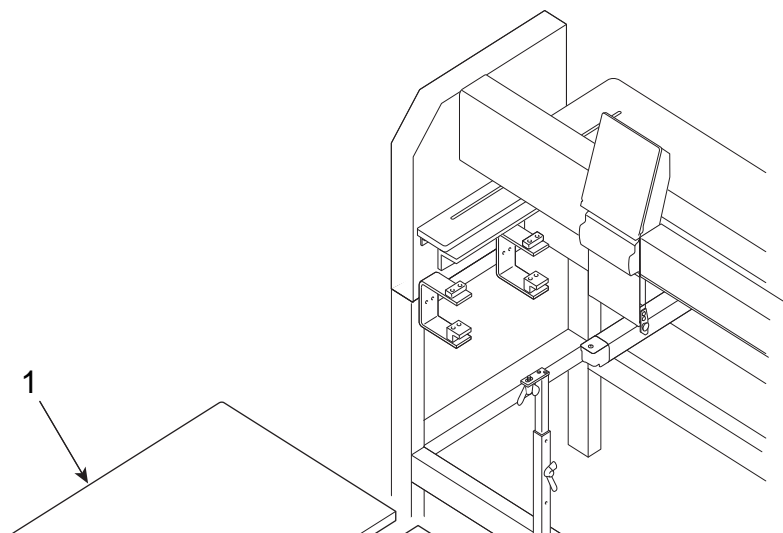
(1) テーブル下面のトグルクランプ 1 をすべて解除します。



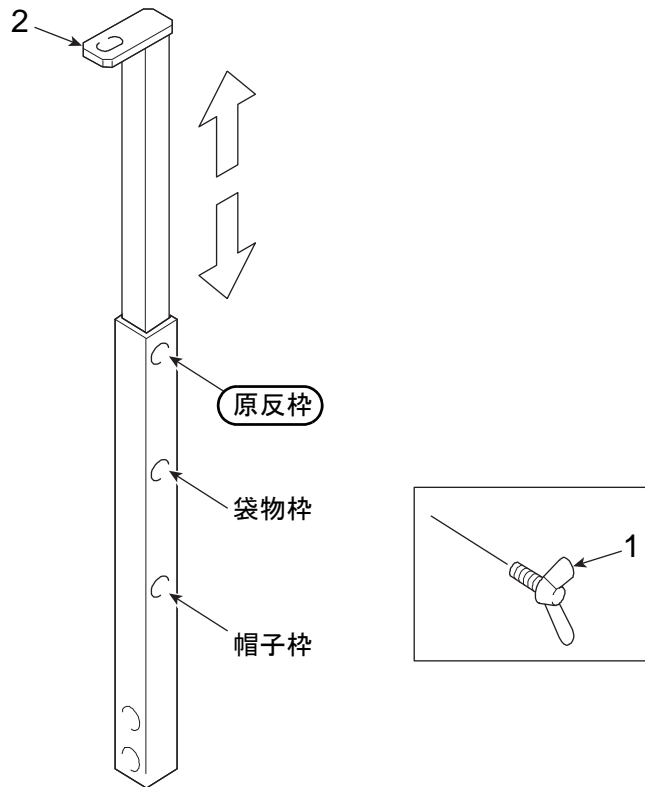
(2) テーブル下にあるステー 1 のネジ 2 を取り外します。



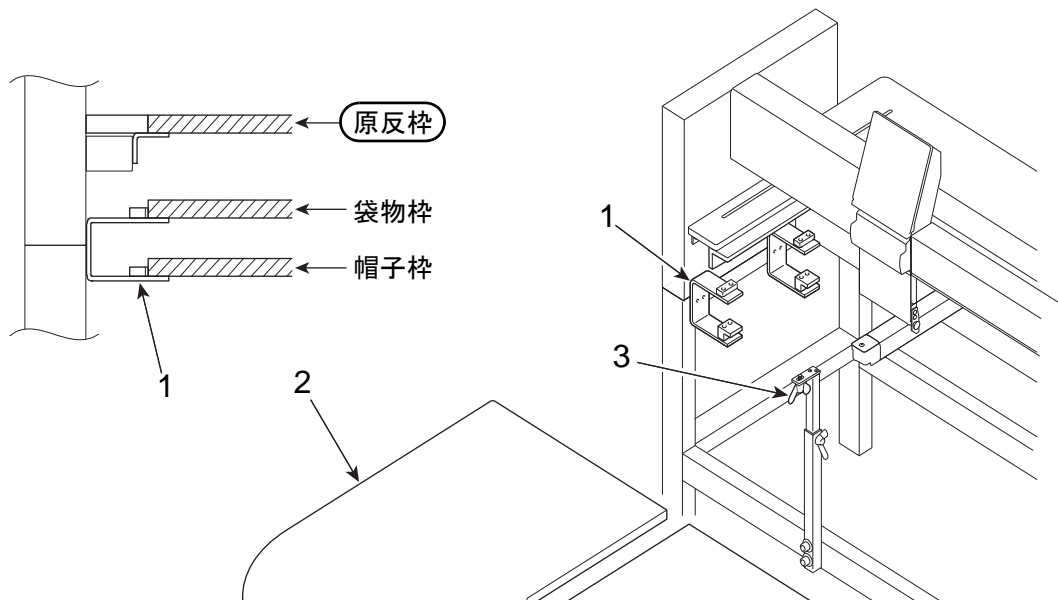
(3) テーブル 1 を取り外します。



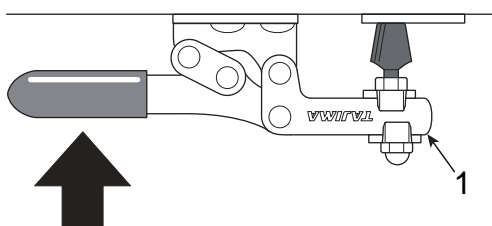
(4) ネジ 1 を取り外し、ステイ 2 の高さを枠の種類に合わせたのちネジ 1 を締めます。



(5) 枠の種類に合った卓ホルダ 1 にテーブル 2 を乗せ、しっかりと奥まで押し込んだのち、ネジ 3 を締めます。



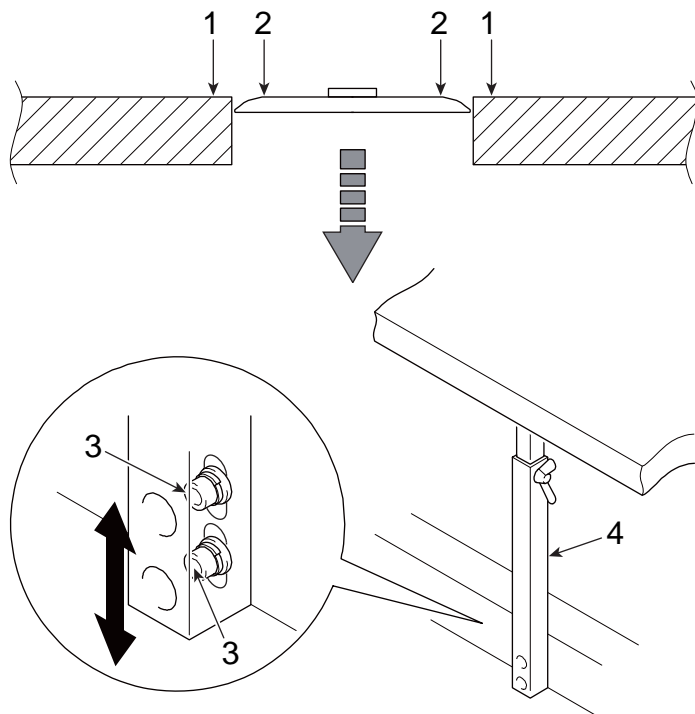
(6) トグルクランプ 1 をすべて固定します。



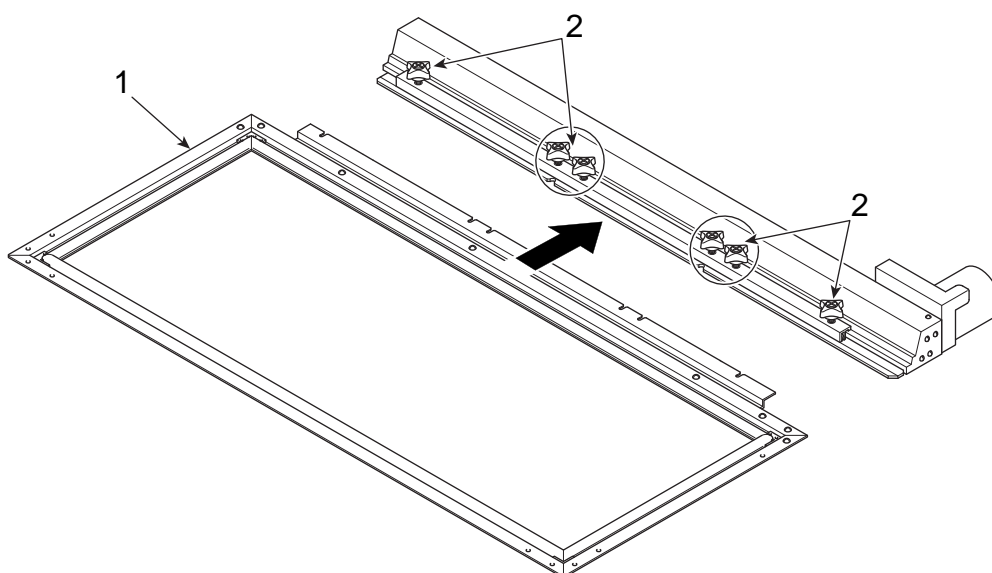
3. 原反枠ユニットの取り付け

(1) テーブル上面 1 と針板の上面 2 がほぼ一致していることを確認します。

0.5mm 以上の差があるときは、ネジ 3 を緩めてステイホルダ 4 の取付け位置を調整してください。



(2) 原反枠 1 をネジ 2 で取り付けます。

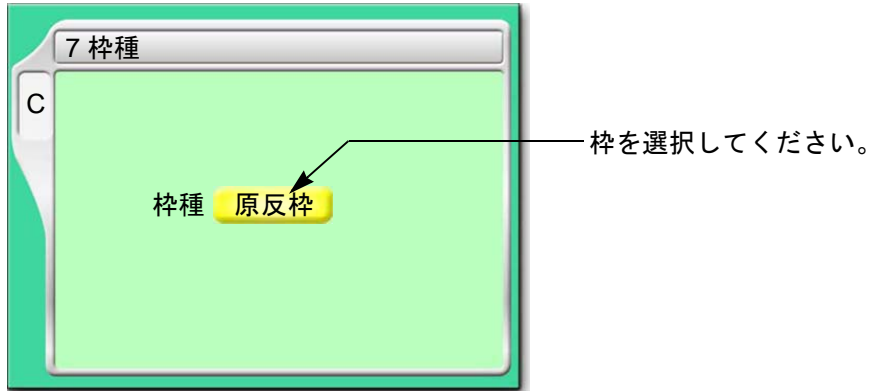


原反枠への交換、および素材のセット手順はこれで終了です。

4. 枠種変更

枠を交換したあとは、以下の手順に従い枠種を変更してください。なお、刺繍途中は変更できません。

(1) 画面説明

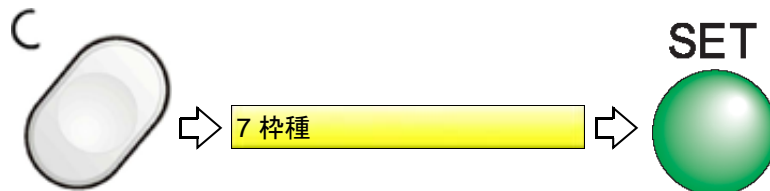


(2) 操作方法

⚠ 注意

⊘ この操作を行うときは、テーブルの上に手などを置かないでください。枠が動きますので負傷するおそれがあります。

[a] 画面を開く

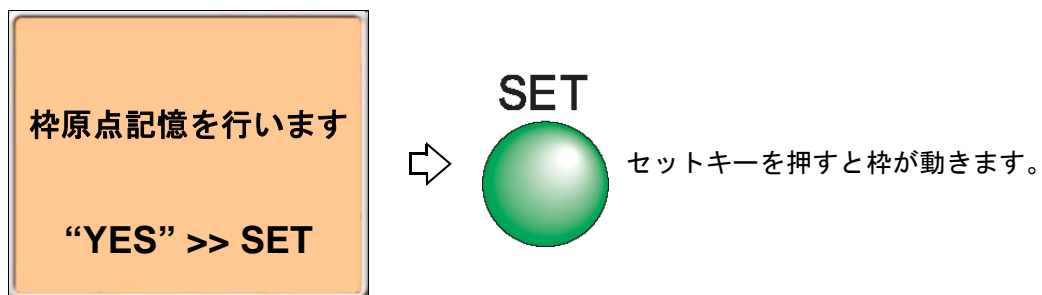


[b] 枠を選択する



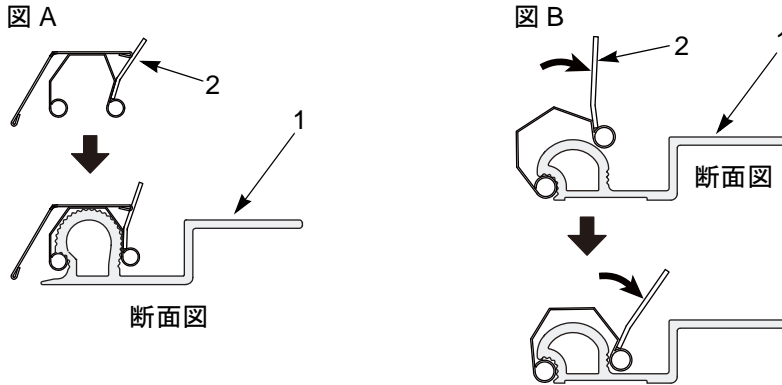
[c] 枠原点記憶を実行する

以下のメッセージは、「電源 ON 時の枠原点記憶」 ([SET+F1-7) が YES のときのみ表示されます。



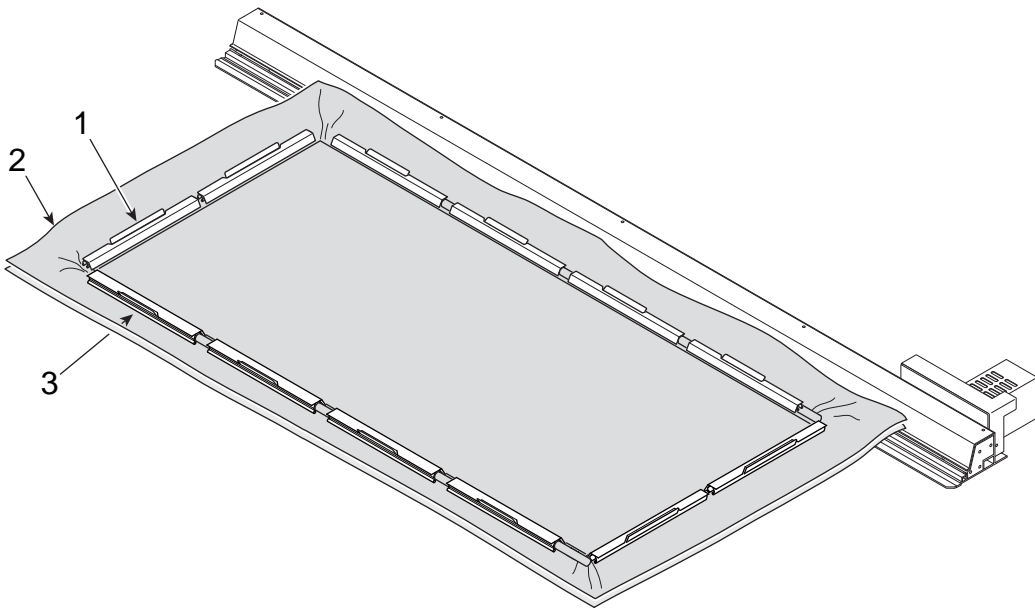
5. 素材のセット

原反サッシ1の形状によって、クリップ2の種類とはめ方が異なります(図A、B)。



5-1. 2頭機、4頭機の360P以下

クリップ1をはめて生地2を原反枠3に固定します。クリップ1は長さによって各サイズあります。生地2を均等に固定できるように配置してください。

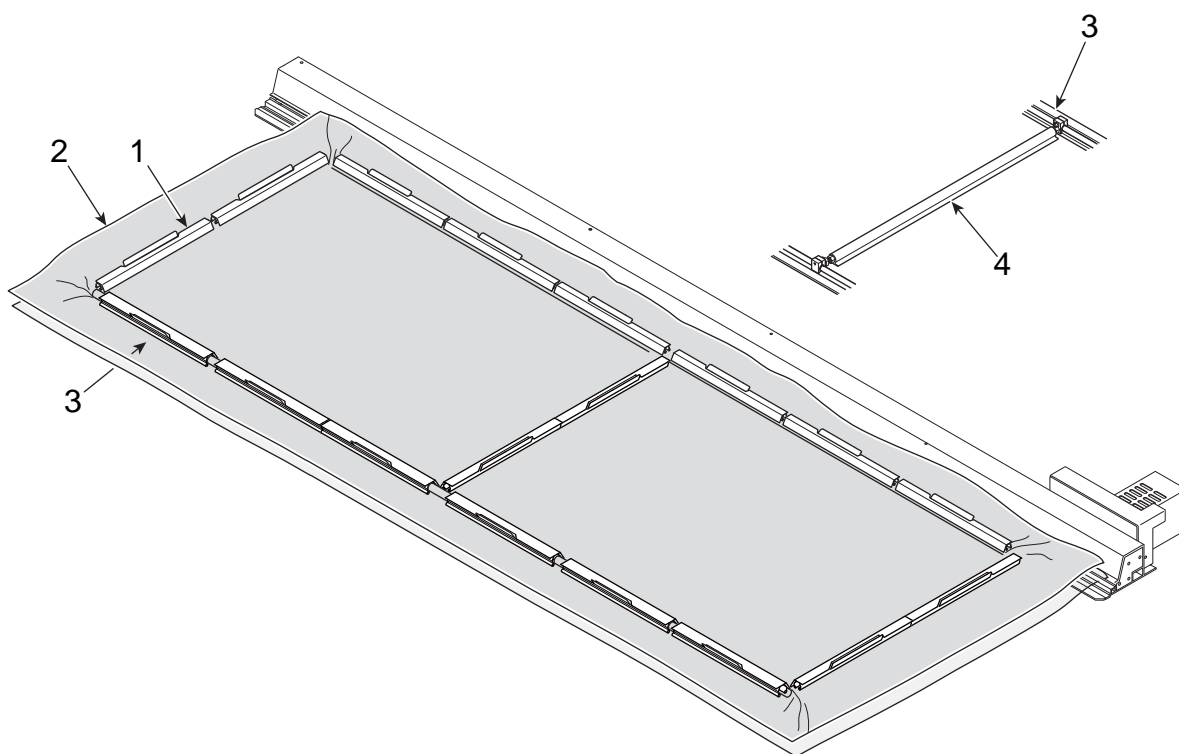


5-2. 4 頭機の 500P 以上、6 頭機、8 頭機

! 注意

! 刺繍時は中間サポータ 4 を取り付けてください。取り外した状態では柄ズレ等のトラブルが生じます。

クリップ 1 をはめて生地 2 を原反枠 3 に固定します。クリップ 1 は長さによって各サイズあります。中間サポータ 4 は、原反枠 3 にしっかりと固定してください。

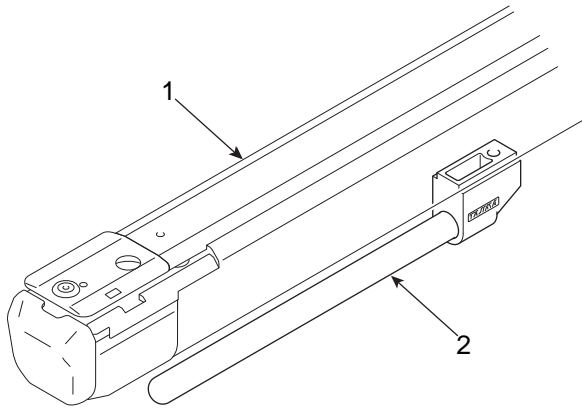


原反枠への交換、および素材のセット手順はこれで終了です。

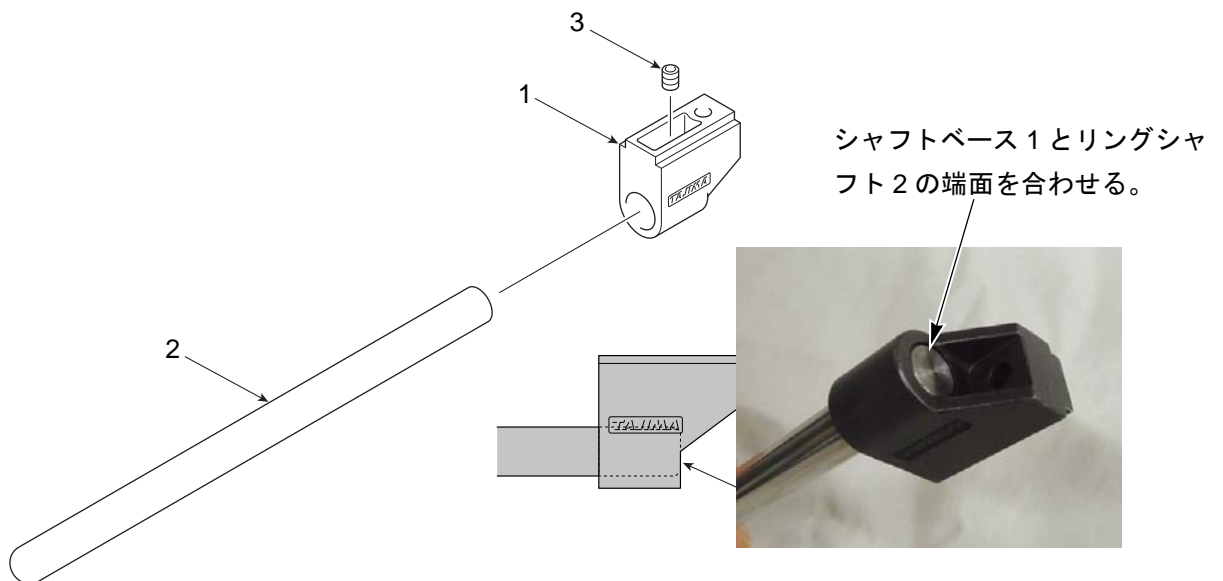
第4章 調整と保守

1. 駆動リングシャフトの取り付け

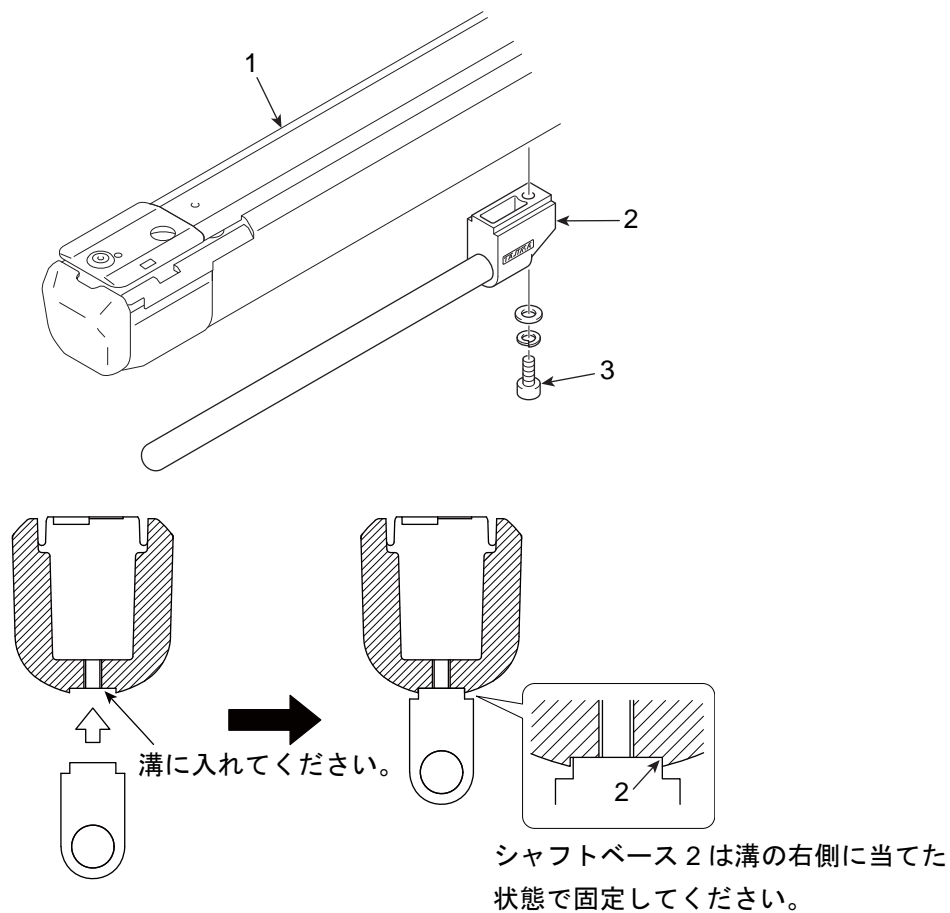
シリンダベッド1の下に駆動リングシャフト2が付いていない場合は、以下の要領で取り付けてください。



(1) シャフトベース1に駆動リングシャフト2を取り付け、ネジ3（六角穴付止メネジ M5x6）で固定します。



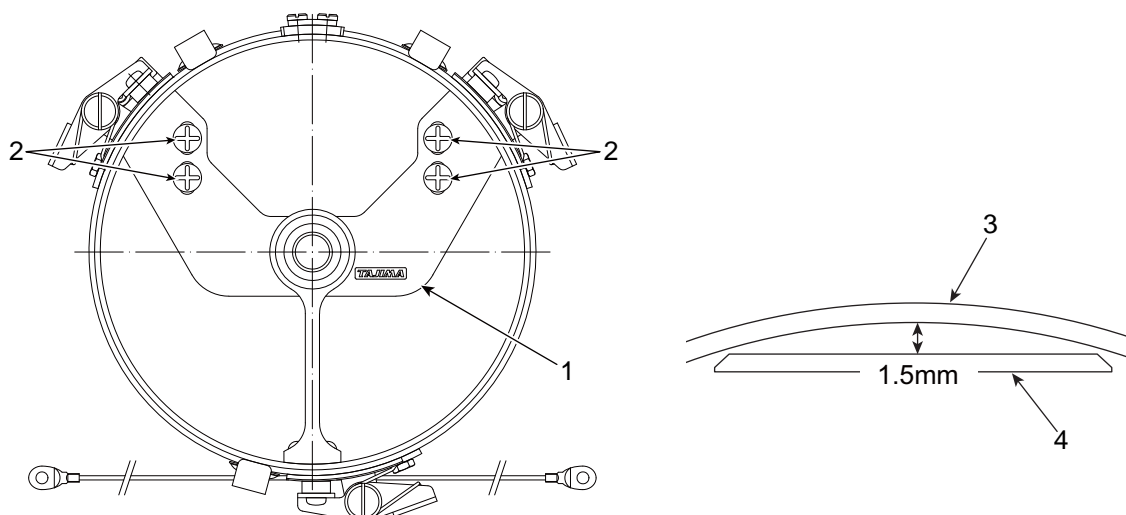
(2) シリンダベッド 1 の下にシャフトベース 2 をネジ 3 (六角穴付ボルト M5x25) で取り付けます。



2. 帽子枠ユニットの位置調整

帽子枠ユニットを前後に移動させた場合、スムーズに動かないときは、ネジ 2 を緩め、駆動リングベース 1 が水平、かつ帽子枠ユニットがスムーズに動く位置でネジ 2 を締めてください。

 このとき、駆動リング 3 とシリンダベッドカバー 4 の隙間は 1.5mm になります。



3. 駆動ワイヤのテンション調整

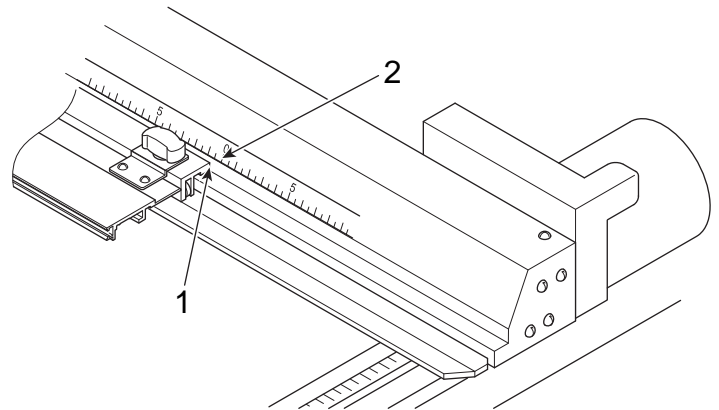
この作業は、帽子枠ユニットの保管中に駆動ワイヤのテンションが緩んだり、センターがずれたときに行ってください。

⚠ 注意

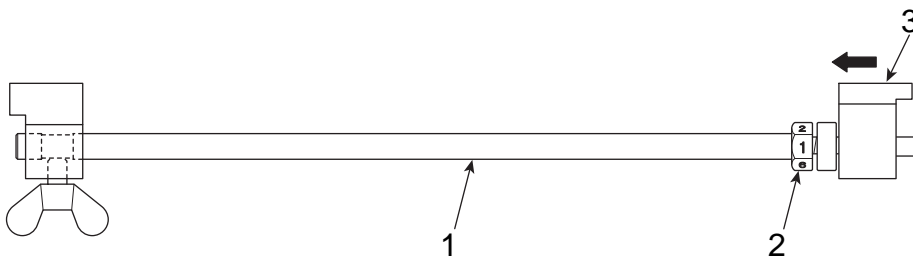
❗ 本章に記載されている内容は電源 OFF、またはスリープモードの状態で行ってください。さもないと予期しない機械の誤作動によって負傷するおそれがあります。

- (1) 電源を OFF します。
- (2) 枠を横方向に移動させて、スライドベースの右端 1 をスケールシート 2 の目盛（下表）に合わせます。

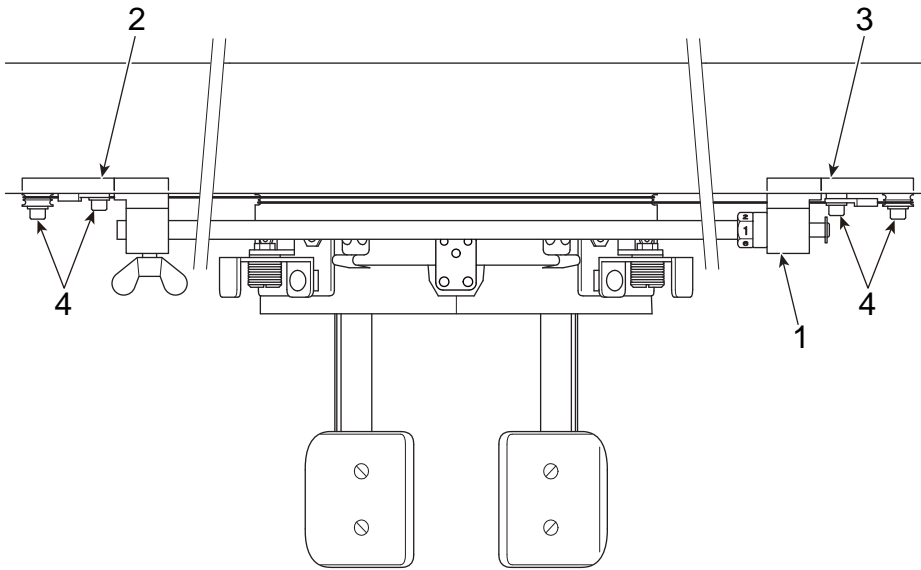
枠仕様	目盛
360P	0
500P	7



- (3) テンションゲージ 1 のナット 2 を回し、ブロック 3 を最も内側に移動させます。



(4) テンシヨングージ1をプレートナット2と3の間にセットしたのち、ネジ4を緩めます。

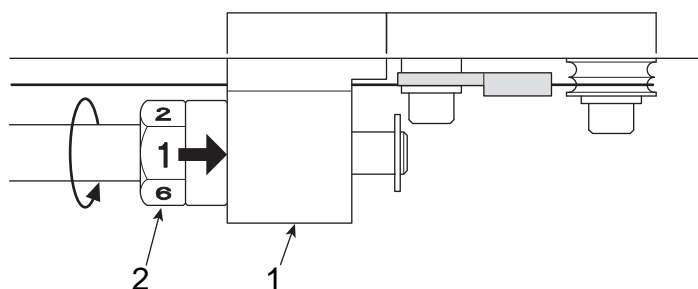


テンシヨングージ1の装着例



(5) ブロック1が右へ移動する方向へナット2を手で回転させ、止まったところからさらにスパナで4/6回転させます。

🔧 ナット2を回転させるときは、刻印された数字を目安にしてください。



- (6) 駆動部が左右に動かないよう注意しながら、駆動リング 1 を手で回し、センターマーク 2 と針穴の中心 3 を合わせます。

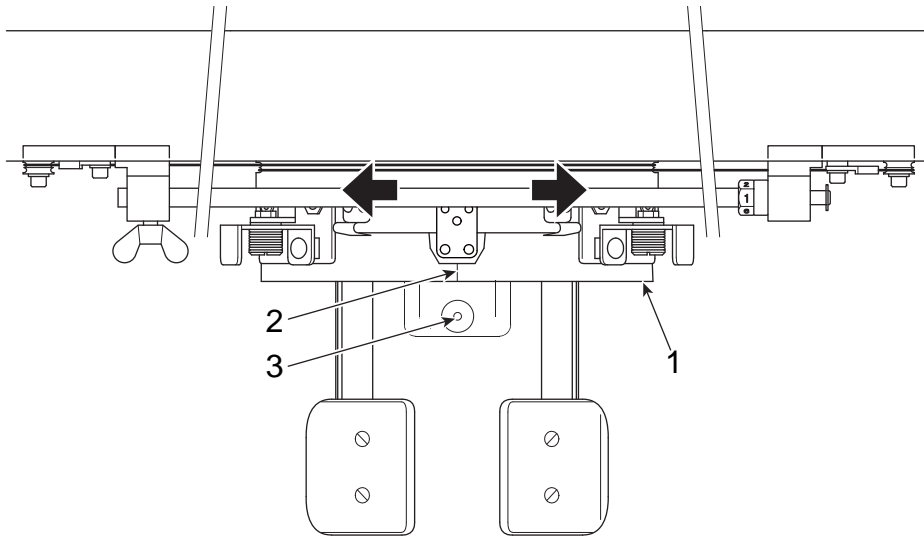
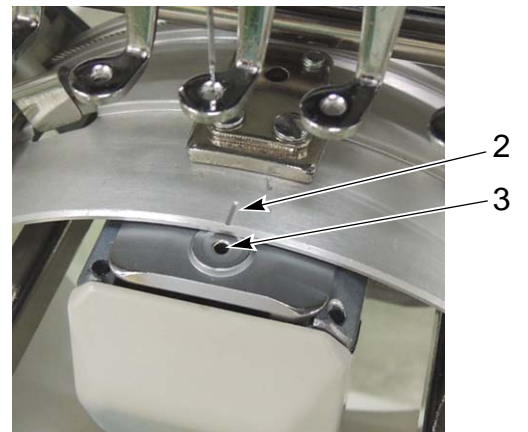


写真 1

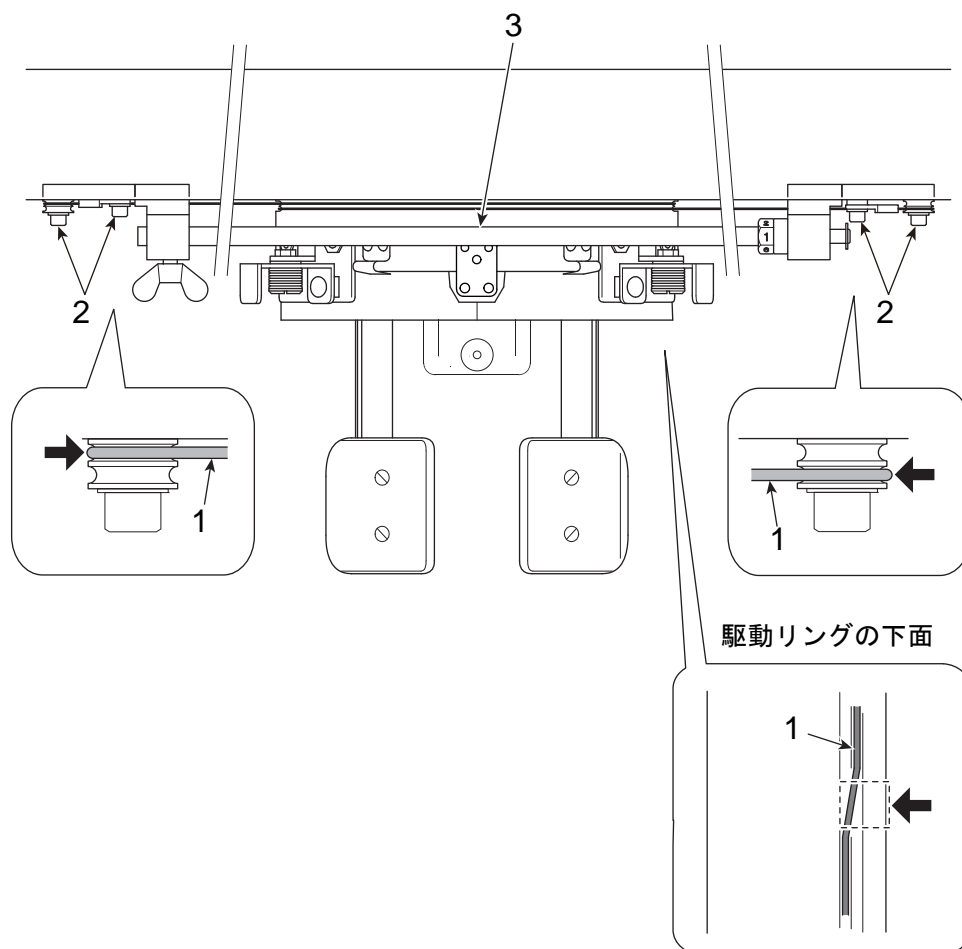


写真 2

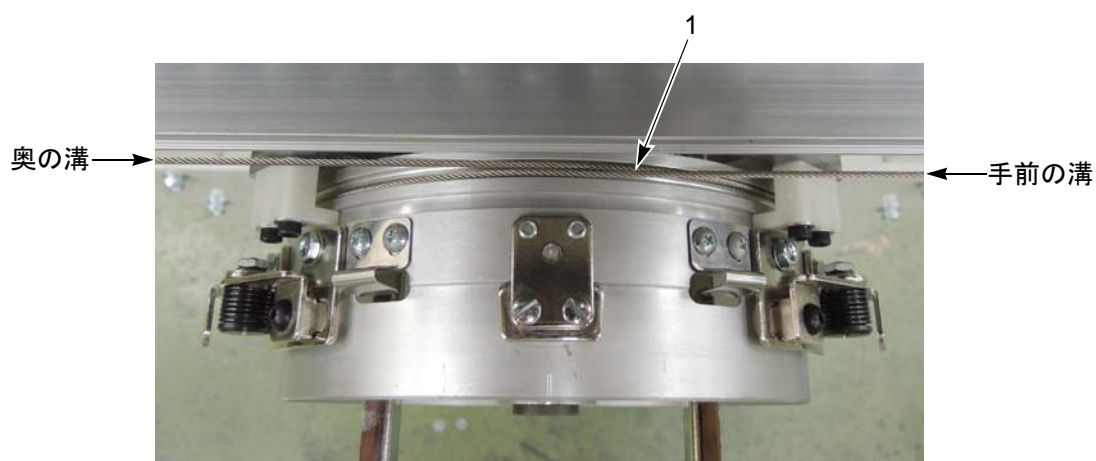


(7) ワイヤ1が溝からずれていないことを確認したのち、ネジ2を締めます。

(8) テンションゲージ3を取り外します。



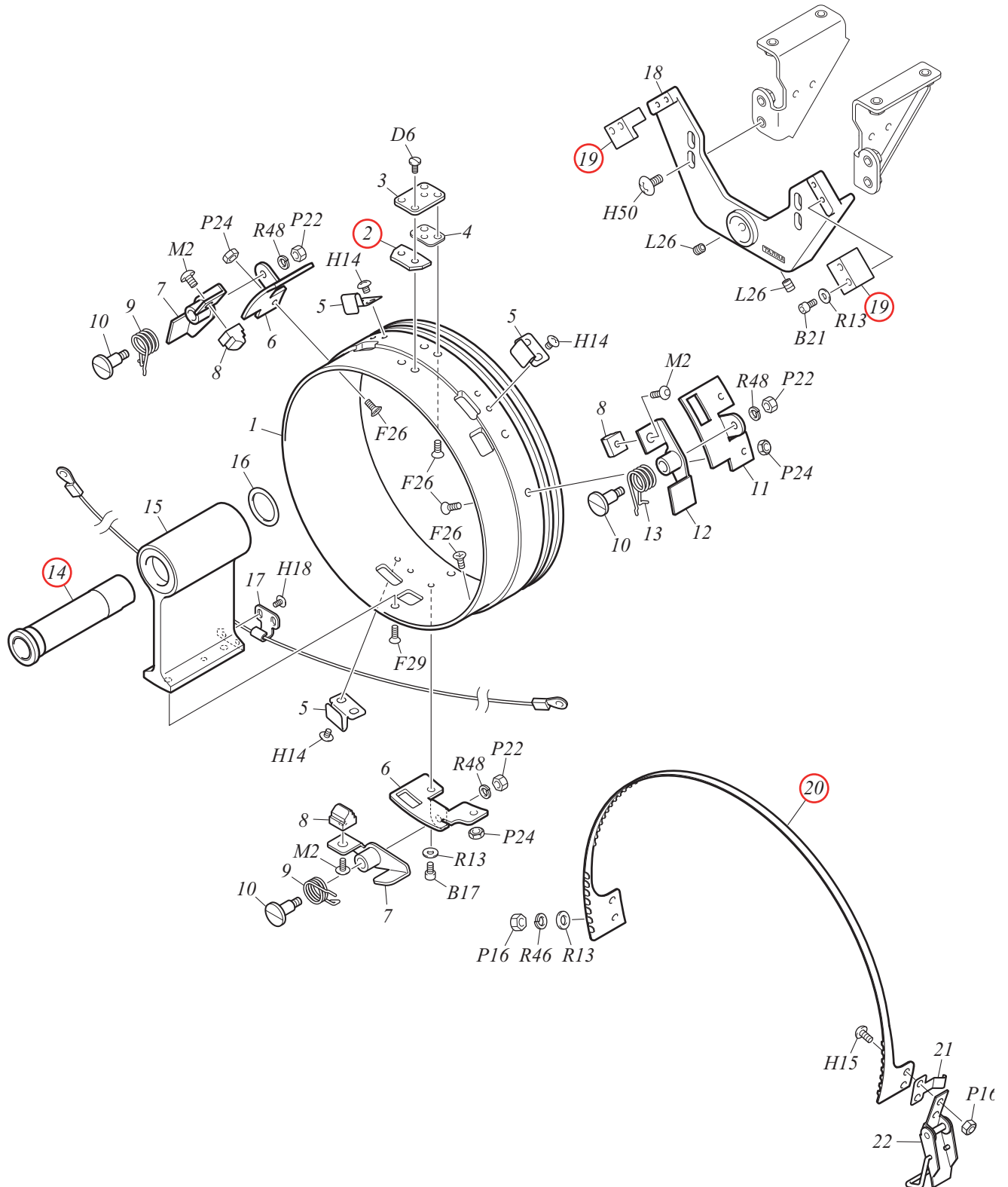
ワイヤ1は、溝に正しく掛けてください。



4. 定期点検

3箇月に1度は帽子枠ユニットの定期点検を行い、磨耗した部品があれば交換してください。

下図の赤丸の部品は、仕上がりに影響しますので、早めの交換をお勧めします。なお、品名、部品番号については、別冊のパーツリストをご参照ください。



初版 2010年7月

9 版 2019年5月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地

TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地

TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230

本書の一部または全部を無断で複製、転載、改編することを禁止します。